かみさまドロップ
-holy days follow-
1
みなもと悠
Yu Minamoto
SHONEN CHAMPION COMICS

SHŌNEN CHAMPION COMICS
MINAMOTOYOU_KAMISAMA DROP

かみさまドロップ

God Invasion

1

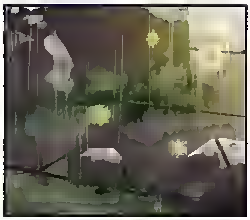
みなもと悠

少年チャンピオン・コミックス
月刊少年チャンピオン掲載

第1話 ツキに見放された男 3
第2話 翼の折れたエンジェル…… 61
第3話 いいところ…… 107
第4話 俺が本当に欲しいのは…… 149

★この作品はフィクションです。

第1話

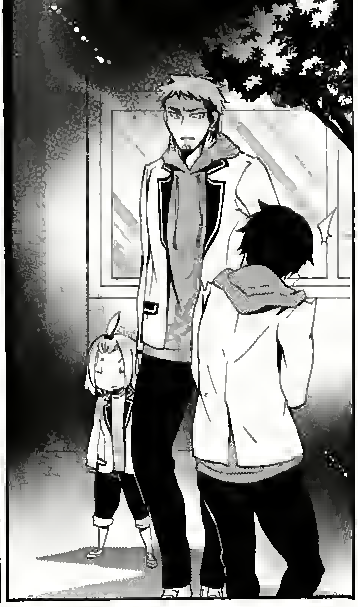


第1話✧ツキに見放された男

その日
突如俺の前に
現れた
その娘は
自分のことを
神様だと
言った
ツイてきた
不幸続きだった
俺の人生に
ようやくツキが
見えはじめたー!!

ヘ0カ?
…
これが…これが
毎日20個限定
スイートポテト
Wクリームパン…!!
やっと……
やっと貰えた
……!!
もちもち生地と
丁寧に裏ごしした
自家製スイートポテト
こだわりぬいた素材の
生クリーム&カスタード
の絶妙なハーモニー…!!
いつもいつも
俺の目の前で
売り切れていた
のに……!!
俺の人生
ようやくツキ
はじめたか…!?
ドン!!

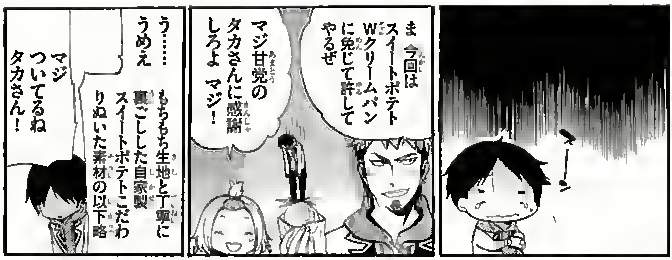
オウ
コラ
どこに目ェつけて
歩いてんだ コラー
マジどこに
目ェつけて
歩いてんだ
マジ コラー



うわ……
鷹津と
島谷よ
アレ
不良の
どこでも
いるのよね
ああいうの
関わらない方が
いいよ
巻きこまれるよ
……
うん
行こ
行こ

あ
おい タカさん
マジ見ろよ
こいつスイートポテト
Wクリームパン
持ってるぜ!!
何
あの伝説の
クリームパンを!?
い……いやいや
ぶつかったのは
謝るけど
ダメだ!!
これだけは
ゆずれん!!
これだけは
どうか……

あアン？

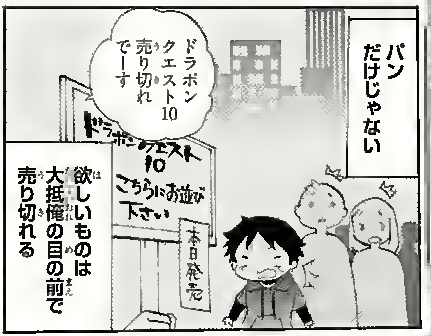

ま 今回は スイートポテト Wクリームパン に免じて許して やるぜ
マジ甘党の タカさんに感謝 しろよ マジ！
もちもち生地と下顎に 裏ごしした自家製 スイートポテトこだわ りぬいた素材の以下略
う……
うめぇ
マジ ついてるね タカさん！

野分あすなろ
高校2年

この17年間

俺の人生は
全くもってツキに
見放されている

パン
だけじゃない

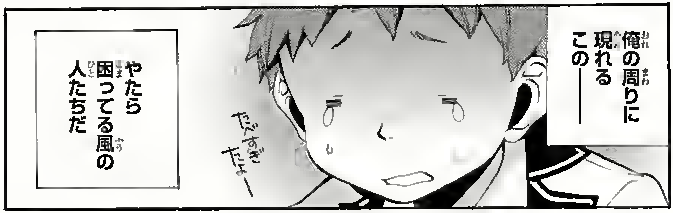


欲しいものは
大抵俺の目の前で
売り切れる

それに加えて

俺のツキのなさに
拍車をかけるのが

うえぇーん
痛いよ——
めそ
めそ
お腹痛いよ——


俺の周りに現れるこの——
やたら困ってる風の人たちだ
だいすきだー

悪いけど昼メシ売り切れちまうんでな
無視すりゃいいんだよ
さっきだって誰も俺のこと助けてくれなかった
皆みたいに要領よく生きていけばいいんだ
ぐすっ
ぐすっ
は…っ

でも――

見ないフリした
あと食う
メシのまずさを
考えると

そうもいかない

ほれ 保健室
もうすぐだから
がんばれ

うぅぅぅ
ごめんね
ぐぐぐぐ

そして

ごめんねぇ
今日はもう
全部売り切れ
ちゃって……

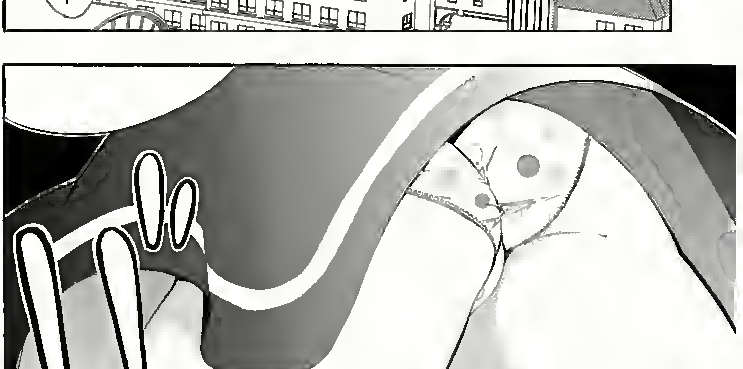
もうちょっと
早く来て
くれればねぇ

食うメシすら
ないという
この仕打ちで
ある

ぐぐぐぐぐぐっ

ちくしょ――
なんで俺の人生
こんなにツイて
ねーんだよ!!!

バイバーイ
また明日ねー



おっ
ぴえっ
ごめんなさい
かーわいー
声かけて
こよっかな
えっ
葵さんに!?
やめとけ
やめとけ!
え? 何だ
ていうか
あの子
葵さんって
いうのか
あそっか…
お前 校舎
違うから
知らないのか
あの子
かわいいけど
ちょっと変わって
いるというか その…

つーか そもそも
あの子 彼氏
いるっぽいもん！
たしか
2組の…
…何っていったかなあ
あのやたら不幸に
みまわれてるヤツ……

ぐきゅるるるるるるるる

昨日も
また!?
おとといも
食べれて
なかったよ
な?
……
カラスに
とられたとか
強風にとばされ
たとか
野分
うるせーよ
腹の音
昼メシ
食えなかったん
だよっ!!
音ら盛り
食べ盛り
かよ
カー!!

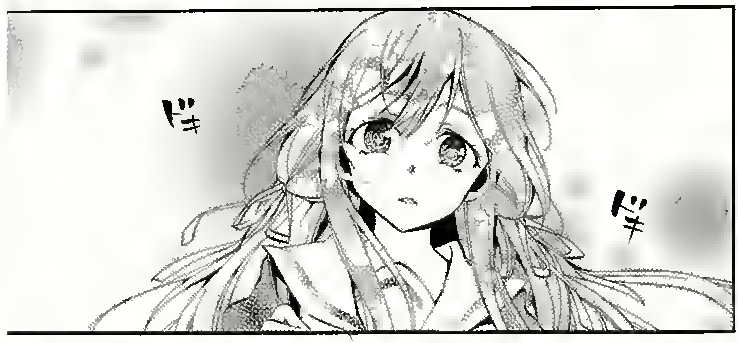
でも……
全く
ツイてねー
よなあ
学校来ても
こんな仕打ち
ばっかじゃ
報われねーよっ
しまいにゃサボるぞ

バンビ――
帰ろ――
うん
ちょっと
待って――

橋姫万里――
通称
「バンビ」
今日も
かわいい♡
サボッ
ちゃったら
彼女に会えない
もんなァ……♡

……ま……
惚けた視線を
送るだけで
一度も話した
コトなんて
ないんだけどさ……
たた
あ
ポロ
！

ケータイ！
バンビのケータイ!!!
拾えばバンビと話せるぞ……！
バンビちゃん落としたよ
まあ優しい殿方♡
いやっ…しかし本当に俺が拾っていいのか？
もしたことないならわからんけどバンビがもし俺のこと嫌ってたりとかしたら？
迷惑になっちゃうんじゃなかろうか!?


ドキ
ドキ

ドキ
ドキ
いや 行け！
ツイてない俺がこんなチャンスに出会えるなんてめったにないぞ!!
行け！
行け!!

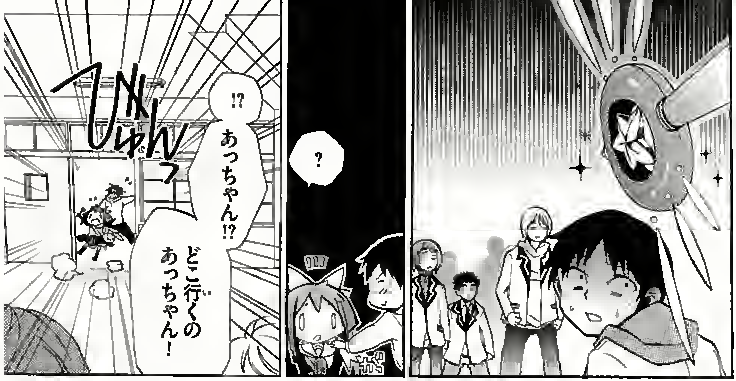
行い
あっちゃーーん!!
ビュー

あっちゃん!!
聞いたよ!
不良にいじめられたんだって!?
大丈夫!?
ケガはない!?
ぴえ
ぴえ――!!
やっぱりケガしてるじゃない!
これは今お前が乗っかってきて頭ぶつけたの!!
かわいそうなあっちゃん……!!
はあ…
出たよこいつ
毎日毎日人前で彼女といちゃいちゃしよってからに
見たか?顔面におっぱいが……
あのな!!
今まで何べんも言ってるけどな!!
こいつはただの幼なじみ!!
だいたいあるのかないのかわからん胸ぶつけられても痛いだけだっつの!!
ってなんだその目は!

うう――
痛くて
ごめんね
そのうち
大きくなると
思うのだけど
人前で揉むのは
やめなさい!!
…
悪いがお前の
相手をしてる
時間は――
みこと
待ってくれ
今大事な
トコなんだ

……!!!
あっ
バンビ!?
待って
バンビちゃん

見たか？
ああ
見たとも
こいつ
これ見よがしに
彼女といちゃこら
するだけでは
飽き足らず
俺らのバンビの
聖域を……
許せん…
許せんな…
……!!
何！このあっちゃんを取り巻く殺気は…？
大変！このままじゃあっちゃんがやられちゃう……!!
あなたたち！
あっちゃんは
わたしが
守るわ！
もし
いじめると
いうなら
この葵みことの
屍をこえて
いきなさい!!!


!?
あっちゃん!?
どこ行くの
あっちゃん！
？

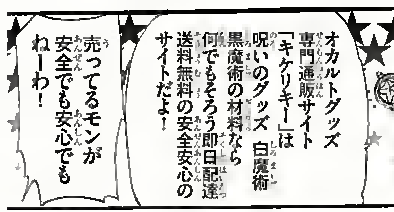
あの子
かわいいん
だけど
何ていうか
……ね
うん……
かわいいん
だけどね

はい
バンビちゃん
ケータイ
おとしたよ
あ
ありがとう
バンビちゃんに
ありがとうって
言われた♡
バーカ
俺にだよ♡
ふざけんな
俺にだよ♡
かわいーもんね
ありがとうの
一言だけで
バンビは
人気ものだ
ねぇ
そ…そんな事…

ったく
あの男子たちに
比べて野分は
サイテーだね
パンツ
見やがっ
たしねっ
てゆーか
目の前に物
転がったら
拾うよね
フツー
どんだけ気が
利かないのよ
あのすっとこ
どっこいは！
ね！ バンビ！

あっちゃん！
これネット
通販で買った
お守りだよ！
よく効くって
評判なんだ
って！
これで
あっちゃんの
ツキの悪さも
スッキリ解決
だよ！

いりません!!
えっ
え――――!?
そうやってお前はうさんくさいもんばっか学校に持ってきて!
何だ さっきの5才児ご用達みてえなステッキは!
アレもネット通販か!!


うさんくさくないよぉ!!
オカルトグッズ専門通販サイト「キケリキー」は呪いのグッズ 白魔術 黒魔術の材料なら何でもそろう即日配達 送料無料の安全安心のサイトだよ!
売ってるモンが安全でも安心でもねーわ!

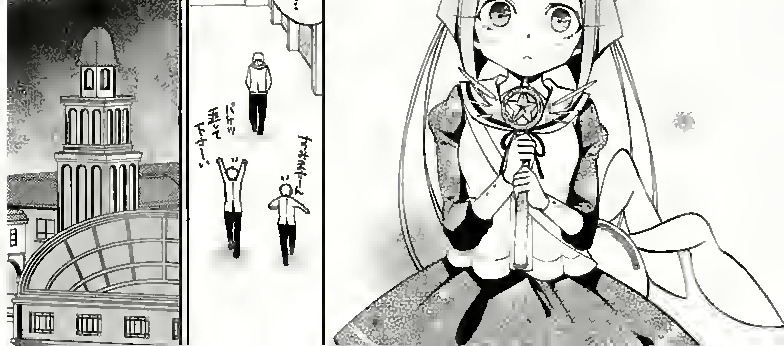
……
あのなみこと
俺とお前の関係は何だ?
…幼なじみ…
そうだただの幼なじみだ!!
ただの幼なじみがお互いのこと過剰に気にかけたり
毎日毎日一緒に帰ったりする必要は一切ないんだよ!

じゃーな
みこと
今日から
別々に帰ろうぜ
……でも
あっちゃん…
何だよっ
ガポッ

あっちゃん すぐ
そうやって何か
ヘンなコトに
巻きこまれるもの
放っとけ
ないよ…
……
あのね
あっちゃん
きっと
あっちゃん
何かに呪われて
るんだよ
はあ!?
今は
コレっていう
解決策は
見つかんない
けど……
わたしがもっと
勉強して必ず
あっちゃんの
ツキのなさを
何とかして
あげるから!!
だから
安心してね
あっちゃん!

ってあれー!?
聞いてない——
ひえっ
お前も
高校生にもなって恋人でもない男としょっちゅう一緒にいたらいらん勘違いされるんだからその辺よく考えろよ
みこと
俺もう子供じゃねーしさ
自分のことくらい自分でなんとかするって

お前のことかわいい——って言ってる男子よく見かけるし
もったいねーぞ
俺と一緒にいるのも俺のせいで電波オカルト系不思議キャラになっちゃうのもな


あっちゃん…
すまそちゃん
バサッ
悪いな…

やっべ――
本格的に降ってきた
折りたたみ傘ない時に限ってツイてねーなあ……
……
パンピ……
ケータイ拾わねーわ
パンツ見るわ
サイテーの男だと思ったろうな……

バンビ……
白だった……
純白……
雪国……
ってちがう！
そうじゃないー
何思い出して……
しかもこの意味不明な脚色されたイメージは何だー
ちくしょう
こんなよこしまな妄想してガチで最低な男しかいないんか!!
明日どんな顔して会えばいいんだよ！
あそこで
みことさえ来なければ……
ホント
ツイてね

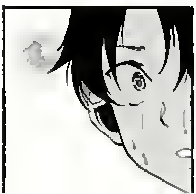
で

感情にまかせてがむしゃらに走ってたらわけわかんないとこに来てしまったんすけど
アアアア…

どこココ全然わかんない!!
何俺一人じゃお家帰れないくらいダメな奴なワケ!?

俺 もう子供じゃねーしさ 自分のことくらい自分でなんとかするってうわ――かっこわりィ――
3P前の俺 かっこわりィ――

このままここで遭難でもしたらツイてないにも程がある…!!
寒イ…
どっか雨宿りできる場所……



……
神
社……？

はぁ…
とりあえず雨宿りできてよかった……

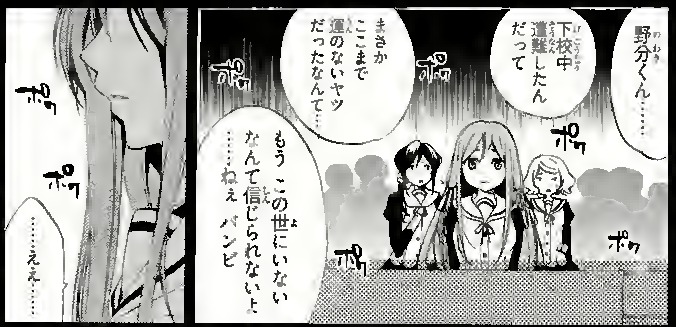
腹減ったぁ…
そーだケータイで助けを……
って充電切れ！
情け容赦なくツイてねーな

はぁ…
もう…
マジ遭難じゃんコレ……

ずいぶん荒れてるな……
何百年もほっとかれた廃墟みたいだ

人が助けに来てくれる可能性はなさそうだな
……

ザァ…
何時間たったんだろ……寒い……熱でてきたなこりゃ…
そりゃバケツの水かぶった上これだけ雨にぬれりゃカゼひくわな…
ここで死んじゃったりして……
やべぇ……
でも……まぁいっか……もう……
どうせ生きてたってツイてねえロクでもねえ一日が始まるだけだしな…
葬式・どんな感じだろうな…
ポツ
ポツ
ポツ


野分くん……
下校中遭難したんだって
まさかここまで運のないヤツだったなんて…
もう この世にいないなんて信じられないよ……ねぇ バンビ
ポク
……えぇ……

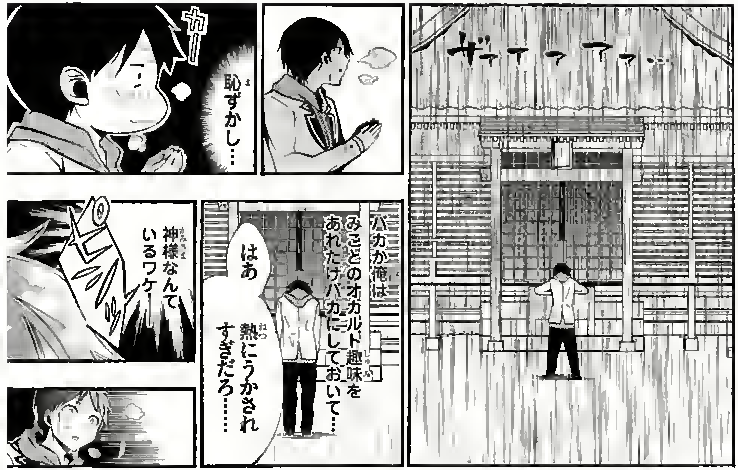
でももう私のパンツを見た上ケータイ一つ拾えねークソッタレウンチョスピンチョス野郎の顔を見ないで済むと思うと
本当に心がスッキリさわやか爽快スプラッシュファンタジーだわ!!

やっべぇえええええ!!
死んでる場合じゃねぇ——!!!

冗談じゃねえ……
俺は帰るぞ!!
生きて帰る!
このまま
ツイてねえまま
人生終わらせて
たまるか!!
おい神様……
一コだけで
いい――
俺の願いを
叶えてくれよ
……!!

もし俺がここから無事に帰れたら
バンビと付き合わせてくれ……!!!

スイートポテトWクリームパンももうあきらめるし
他にどんなツイてねーことが起こってもガマンする！
今までツイてない事だらけだったんだたった一つの願い事くらい
叶えてくれたっていいだろ……!?


ザァァァァ…
バカが俺は
みことのオカルト趣味を
あれだけバカにしておいて…
はあ
熱にうかされ
すぎだろ……
ピンポーン
神様なんて
いるワケ
恥ずかし…
カー
「」

うわぁ!?
へえぇ!?
いっ
いってぇ……!
何だぁ……!?

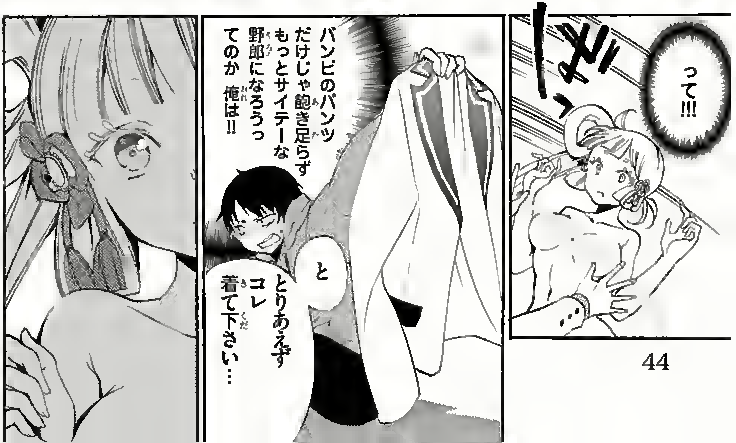
女…
全裸の女……!?

何だ この光ってる輪っか……
ていうか……
ごくっ
みことのと比べモノにならん
って何考えてんだ！俺にはパンピという心に決めた人が……！
ムカ
うわっ

……でもかわいい
ここはひざし町？
は・はいっそうですがっ
え？
そ・そうですよってか他に何に見えます？
……お主……人間……か？
ぽあっ…に人間……！

!!?
そうか お主 人間か！
嬉しいぞ!!
ぎゅうう♡

やばいやばいやばい
やばいやわらかい
いいにおいやばい
やばい
これが……
これがでっかい
おっぱいの感触
……!!!


って!!!
バンビのパンツ
だけじゃ飽き足らず
もっとサイテーな
野郎になろうって
てのか 俺は!!
と
とりあえず
コレ
着て下さい…

慌てて出てきたものの何も着てないでは少々肌寒いと思うたのじゃ
助かったわい
それでもきわどい……
あ…あのあんた一体…
我が名は「得」！
神の証たる「輪」をたまわり今日よりこの土地の神となったのじゃ

……
神？
うむ！
わしが神となった
その日に
この地に人が訪れ
ようとはな……！
これ！
どこへ行く！
むんず
うわぁ もぉ
電波オカルト系
不思議キャラとか
一作品に一人いれば
充分ですからぁ!!
電波オカルト系不思議キャラ

やばいやばい
露出すぎてヘンな
幻見えてるぞ 俺…!!
お主
すごい熱
じゃな
へ？
スッ
チュ

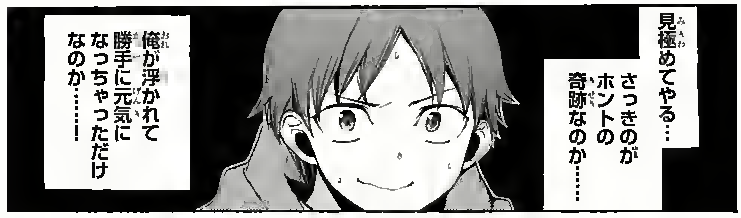
……っ!!!

ちょっ……とあんた何なんスかさっきから!!
やっべェェ…口にチューされるかと思った……!
いやほっぺにでも相当アレだけど……
ドキ
ドキ
ドキ
ン…

……あれ
体……
全然だるく
なくなった…？
ケロッ
これしきの事
できずに
どうする
わしは
神様じゃぞ
社に来てくれた
のと この上着の
礼じゃ
神を大事に
すれば救われる
ということじゃな
……
マジで？

この人
マジで神様なのか……!?——

あ　あのですね
実はコレ　今充電
切れちゃってて
ですね
あの
もしよかったら
さっきのような
力で「ちょちょい」
っと……
じゅうでん？
ふむ……

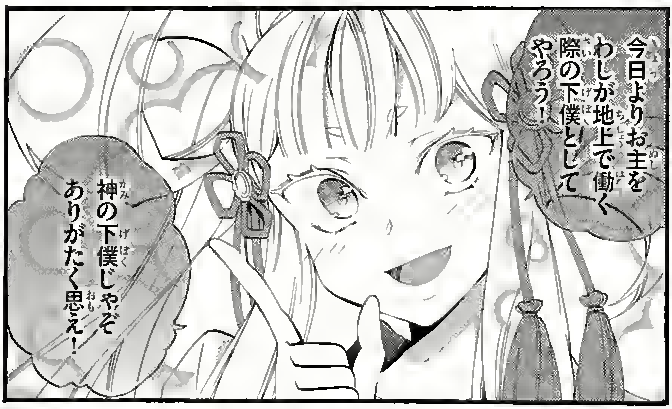

見極めてやる…
さっきのが
ホントの
奇跡なのか……
俺が浮かれて
勝手に元気に
なっちゃっただけ
なのか……！

ちょちょい
ちょ――い!?
ぴぴぴぴ
ぱっ
て…手から
電気出た!?
何!?　静電気!?
ていうか
ケータイ壊れて
先月買い直した
ばっかなのに…
くっそ
ツイてね……

やっぱり…

奇跡じゃないか…!!

お主
名は何という？
はい！
野分
あすなろです
ふむ
野分か
よし


今日よりお主を
わしが地上で働く
際の下僕として
やろう！
神の下僕じゃぞ
ありがたく思え！

げ……
下僕……？
何だ 下僕って？
でも何か俺の事
気に入ってくれてる
みたいだし……
側にいることでこれから
こういう奇跡を何回も
起こしてくれるん
だとしたら……

ツイてきた…
不幸続きだった
俺の人生ようやく
ツキが見え
はじめた……!!

どうじゃ
嫌か？
めっ
めっそうもない!!
ありがとう
ございます！
うむ！
ならば決まり
じゃ
お主は
わしの下僕
――故に
お主の命
だけは助けて
やるとしよう
信心深ければ
救われる
さもなくば
死あるのみ
それを皆に
ようくわからせる
ためにもな

今 この人…
いや この神様…ト
さらっと怖いコト言わなかった…？
ぞぞ…
……え……？
!!
と
飛んだ!?
!?

う……
浮いてる
……!?
浮いてるよ
あの人……!!
わしは
ずっと
待ちわびていた
……
神の資格を
得て
この地上に降り
たつ日を……!!
さあ 交霊の
時は来た!!
人間どもよ 巻
この祝の力にて
滅びるがよい!!

ハハハハ
ハハハハ
ハハ

バカか俺は……
この人か本当に神様だとして
この俺の前に現れるような神様がいい神様なワケないだろ……!?

俺の……
俺の不運が引きおこしたのか!?
このとんでもない事態を
――!!

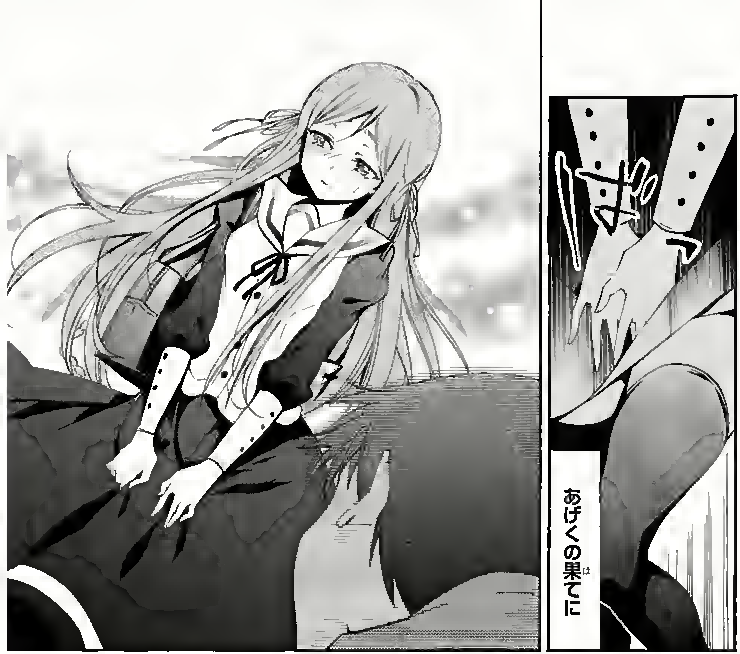
俺のせいで
俺のせいで——

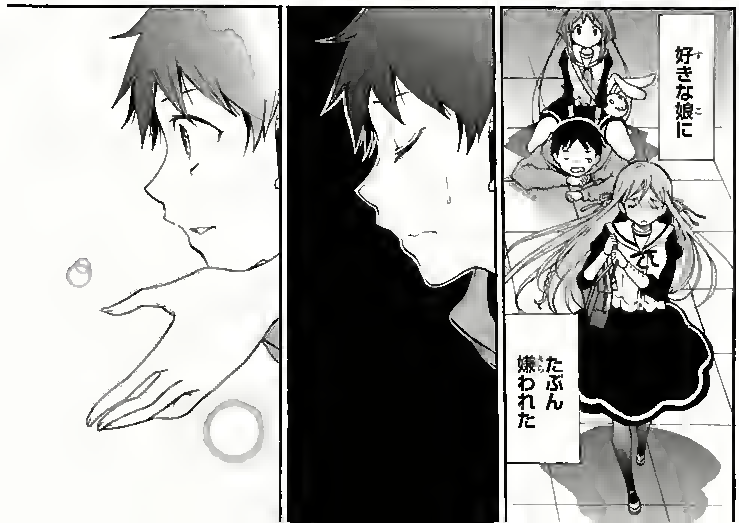
俺のせいで
皆が……!!
ハハハハ
ハハハハ…!

第2話✧翼の折れたエンジェル

野分あすなろ
高校2年
俺の人生はまったくもって
ツキに見放されている

今日も今日とて
昼メシに
ありつけず
バケツの
水をかぶり
オカルト&通販マニアの
ベチャパイ幼なじみと
恋仲だと
周囲に誤解され


あげくの果てに


好きな娘に
たぶん嫌われた

そんな俺の
前に突如として
現れた
さびれた神社の
「神様」と名乗る
女の子「得」
俺の人生
ようやくツキが
巡ってきた……！

――と思ったのも束の間……
うわ……
……っ
ハハハハハ……

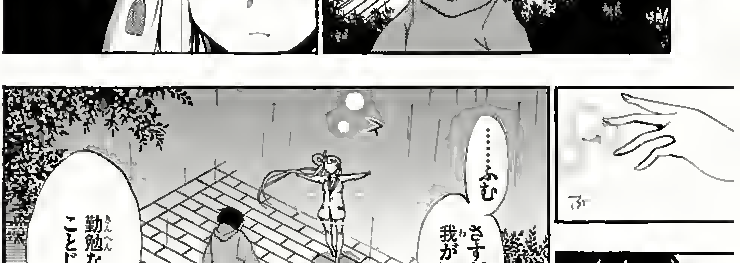
ゴォォ
さあ人間どもよ
この得が裁きを下してくれよう！
己の罪深さを悔いながら滅びるがよい!!

俺の不運はどうやら
とんでもない不運を招いてしまったらしい

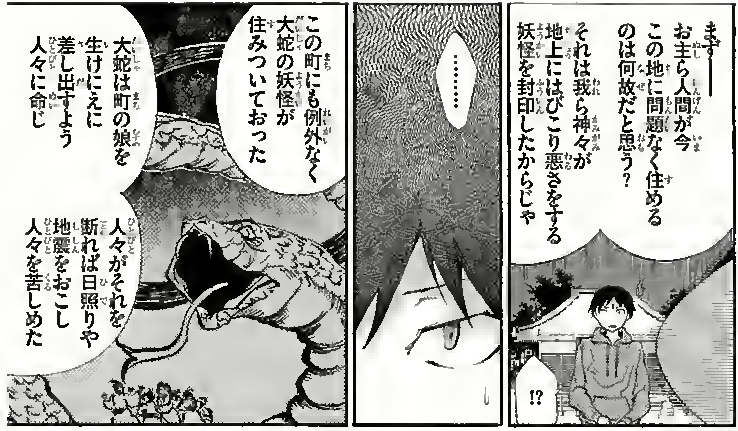
バチ
バチ
まずい
何かわからないけどヤバイぞあれ……!!

とにかく止めなきゃ……!!
ま…待てよ
いや待って下さい神様!!
罪深さを思い知るも何も……
その罪そのものが何なのか
この町の人は分かってないんじゃないでしょうか!!
だってここに神社があるる事すら知らなくてこうしてほったらかしになってるんスから!
どーん
心当たりすらないなら素直に
罪深いじゃろがい
どーん
ですよね!!
どーん
失敗

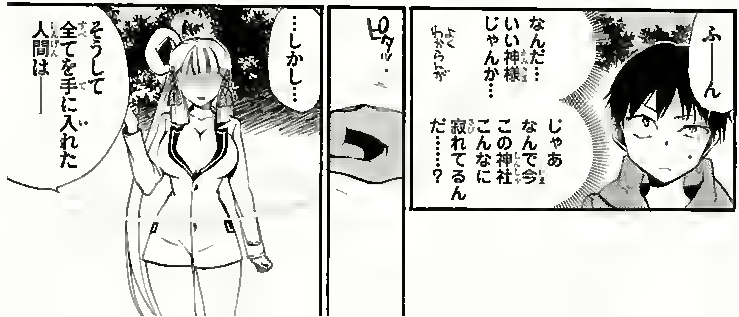
いやまだだ！
そ……そうです心当たらなくてごめんなさい
だから私めに教えてくれませんか？
神様がなぜ今この町に天罰を下そうと思っているのか……！


……ふむ
さすがは我が下僕
勤勉なことじゃ
ぷ

よし
すこし昔話をしてやろう


まず――
お主ら人間が今
この地に問題なく住める
のは何故だと思う？
それは我ら神々が
地上にはびこり悪さをする
妖怪を封印したからじゃ
……
!?
この町にも例外なく
大蛇の妖怪が
住みついておった
大蛇は町の娘を
生けにえに
差し出すよう
人々に命じ
人々がそれを
断れば日照りや
地震をおこし
人々を苦しめた

しかしそんな大蛇とて
我ら神々の
手にかかれば
赤子も同然!!
シュパパッと
大蛇をやっつけて
大地深くに
封印した！
しゅぱぱ
……
まあやっつけたのは
わしじゃなくて
わしの祖先
じゃけどな！
人々は社をたて
大蛇を倒した我々に
供え物を持ってきては
様々な願い事を
残していった
そして我々は
人々が日照りに
悩めば雨を
降らせ
雪に困れば
日の光を呼び
人々が望むものを
与えていったのじゃ

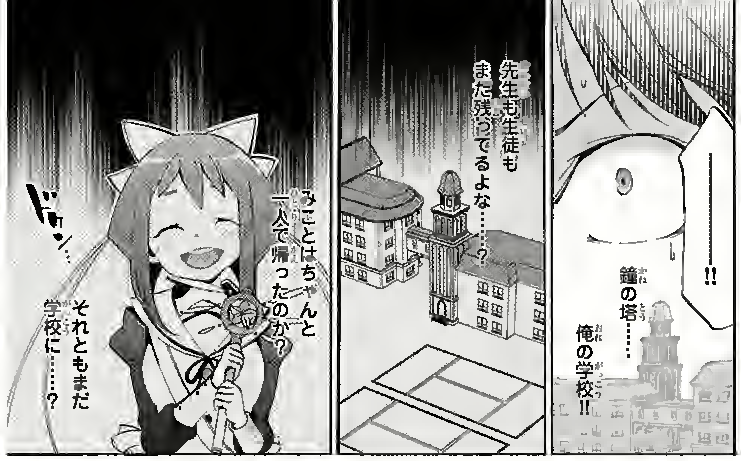

ふ――ん
なんだ…
いい神様
じゃんか…
よくわからんが
じゃあ
なんで今
この神社
こんなに
寂れてるん
だ……？
ゴゴゴ…
…しかし…
そうして
全てを手に入れた
人間は――

やがて
誰一人
ここを
訪れなく
なった
ザアアア

ばっ
！
ちょ…
ようくわかったじゃろ
お主ら人間の罪深さがな――
昔話はおしまいじゃ
わしは今日という日を心待ちにしておったのじゃ
修行を積みこの町の神となる日を……！
ドドドドド

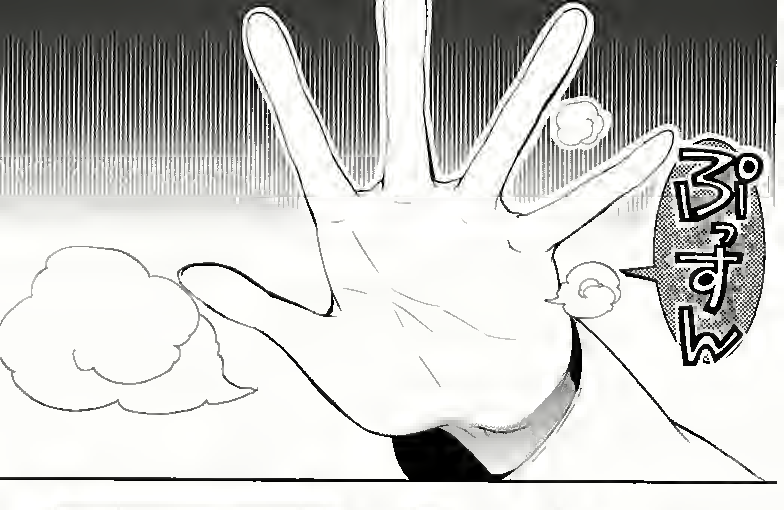
そして
我らへの感謝はおろか
その存在すら忘れおった
愚かな人間共に
この手で
天罰を下す
日をな!!!
ドン

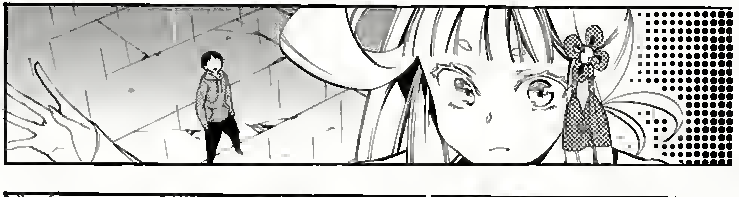
……っ
ふん
こうして見るとちっぽけなものじゃな人の町なぞ
さあてどこから壊してやろうか……
ようし決めた！
にや
まずはあの鐘の塔のある建物にしよう！

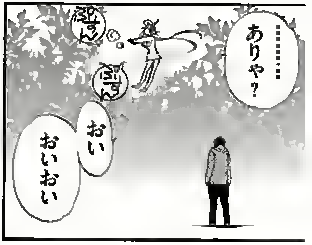

!!
鐘の塔……
俺の学校!!
先生も生徒も
また残ってるよな……？
みことはちゃんと
一人で帰ったのか？
それともまだ
学校に……？
ドン……

バンビは……？

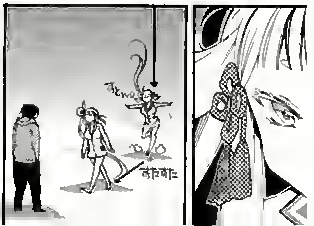
おい……
やめて
下さいって
たのむから
マジかよ
ワケ
わかんね——よ
そりゃ言の人たちは
身勝手だったかも
しんないけど
なんで それで
学校のみんなが
殺されなきゃ
なんないんだよ——!!
やめろおおお


ぷぅん

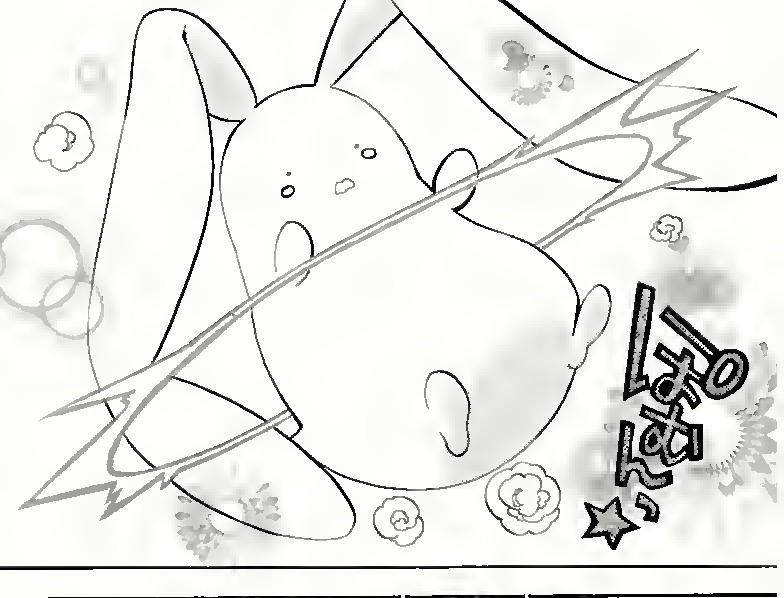


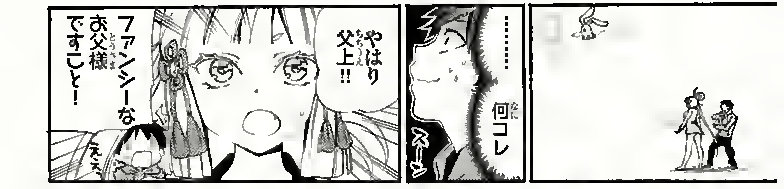

ありゃ？
ぷぅん
ぷぅん
おい
おいおい

出ない!!!!!
どうして
じゃ!!!!
カ!!!
あんたが具体的に
何を出そうと
してたのかすら
知りませんよ
俺は



くっ
おかしいぞ……!!
本当なら巨大な雷であんなちっぽけな建物こっぱみじんにできるはずなのに……!
エルよ
その声は父上…!?
!?
父上!!ってことはこの神様より強くてエライんだよね…!!
イメージ
わしの力を封じたのは父上ですね……!?
ほうらねやっぱし!!
いいぞ いいぞ神様のお父様!!
あんたのお嬢さんの横槊を止めてくれ……!!


ぽんぽん


……
何コレ
スーッ
やはり
父上!!
ファンシーな
お父様
ですこと!
えぇ

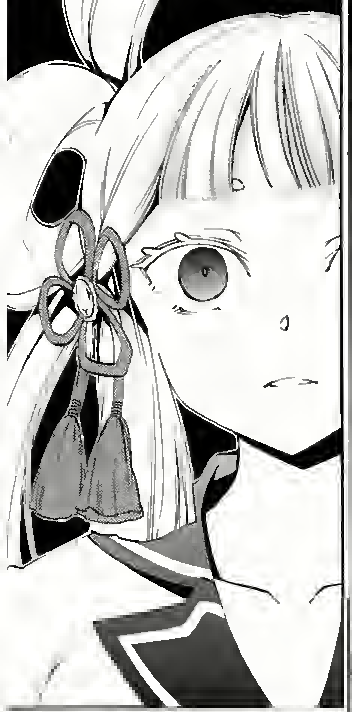
エルよ
神の資格を
得たその日に
姿を消したと思えば…
守り神が
守護する土地を
滅ぼそうとするなど
あってはならぬ行為
だぞ……

何故です！
父上は社のこのあり様を見て悔しくはないのですか！
悲しくはないのですか！
利用するだけされて！
感謝もされず捨てられて！
父上は何とも思わないのですか!!

愚かな人間に天罰を下すことの
一体何がいけないというのですか!!

エル……

お前はまだ……
神となるには早すぎたようだ……
あっ
ス…
輪が…神の証たる輪が消えていく……!!
エルよ



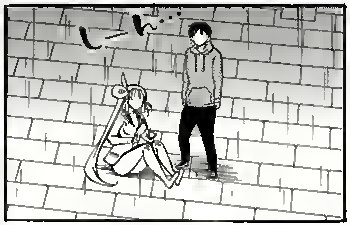
今のお前がひとつの町の神となる事などあってはならぬ事
人としてこの地で生きるがよい

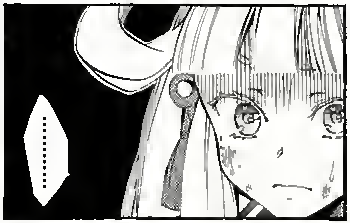
お前から神の証しとその全ての力をはく奪し
我らの住まう神の世から追放する

さすればいずれ
見えてこよう
この社が
神々が
人の心から
消え去った
理由――
神々は
いかなる存在かと
いうことが――
それが
わからぬうちは
神の世に戻ること
断じて許さぬ
そんなっ
父上
お待ちを
……っ!!
ばしゃあっ
!!

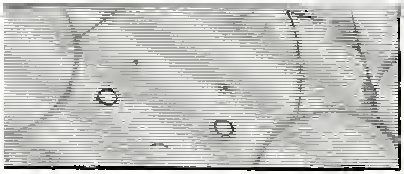
……
さらばだ
エル
ちぃ……
父上(ちちうえ)……
スヤ…
……？

……
何が
何だか……
！
だ
大丈夫
っスか
結構ハデに
すりむいてる
けど……
バカに
するな
わしは
神様じゃぞ！
さっき
お主にも
してやった
じゃろ
この程度の
ケガ
簡単に……
ばっ!!


しーん…


……

お前から
神の資格と
その全ての力を
はく奪し……
ああ…
てことはとりあえず
この町が日本地図から
まるっと消えるような
事態はまぬがれたと…
よかった……



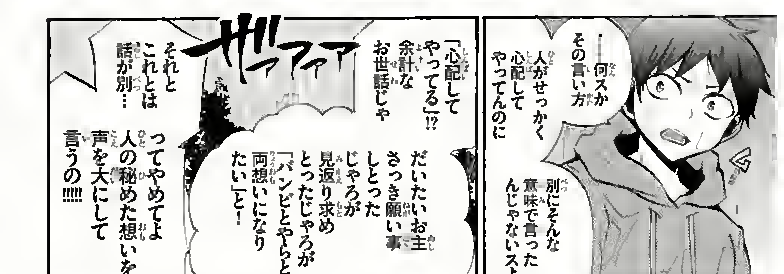
だったらもう
さっさとおいとま
したいとこ
だけど……
そろ〜

……バチあたり
そうだしなあ……
はぁ
ツイてねえ…

あの……
立てます？
とりあえず
雨のあたんない
とこに……

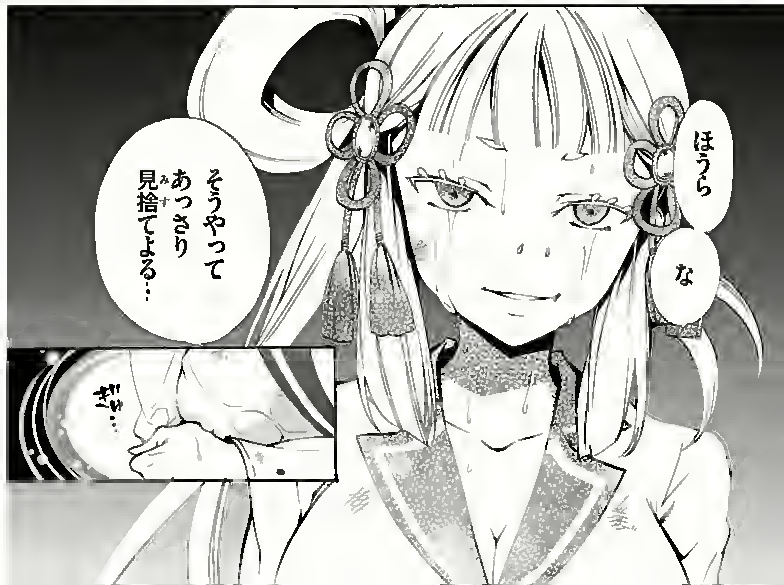
寄るな

あいにくわしは
神様でもなんでも
なくなってしまった
ようじゃ
そうやって
見返りを求めて
優しくされても
なぁんも応えてやる
事はできん
残念じゃったな


別にそんな
意味で言った
んじゃないスよ
――何スか
その言い方
人がせっかく
心配して
やってんのに
ガァァァァ
「心配して
やってる」!?
余計な
お世話じゃ
だいたいお主
さっき願い事
しとった
じゃろが
見返り求め
とったじゃろが
「パンピとやらと
両想いになり
たい」と!
それと
これとは
話が別…
ってやめてよ
人の秘めた想いを
声を大にして
言うの!!!!!

とにかく
失せよ!
わしは人間
なんて
だぁいっ嫌い
なんじゃから!!
ドンッ
……ああ
そうかよ
……!
ムッカー

俺だって
自分が生まれ育った町
ぶっ壊そうとする
ような神様
ごめんだよ！
言っとくけど
過去に何があったかなんて
今生きてる俺らには一切
カンケーないんだからな!!
はいはい
解散解散
おつかれ
様っした!!!


ほうら
な
そうやって
あっさり
見捨てよる…
ぎゅ…

サアアアア…

！！

だれですか！
こんなとこに
本格的な落とし穴
ほったの!!
どこの
いたずらっ子
ですか!!!

くそー もう
ツイてねーなあ
上着 洗濯で
汚れ落ちんのか
コレ……

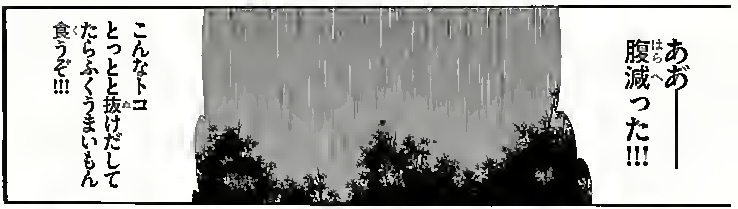
はっ……
上着
あの女に
貸しつになし
てすやん…

ったく
何だってんだよ
あの女……！
もう
知らん
知らん!!
ガァァ…
だいたいさあ
神様のイメージと
全然違うんだよ
神様ってもっと
何ていうか儚げで
おしとやかで
そう 例えば
バンビみてぇなさ……
それに比べて
何だよ
あいつは！
ばいん
あれじゃおっぱい
でっかいだけの
ただの人間の
女の子……
ぎゅっ…

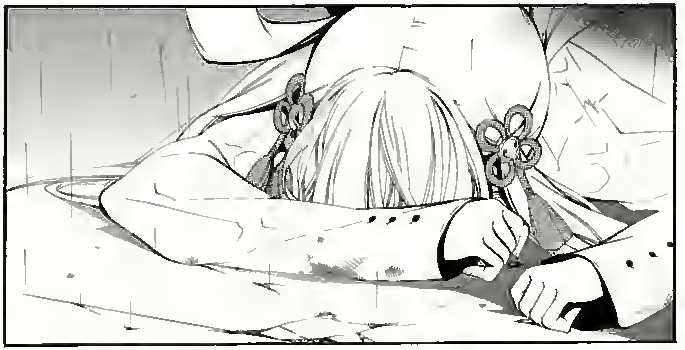
……に
なっちゃったん
だよなぁ……
何の力もない
ただの人間の女の子に…

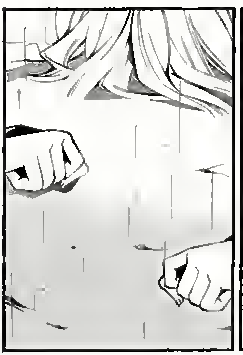
っ

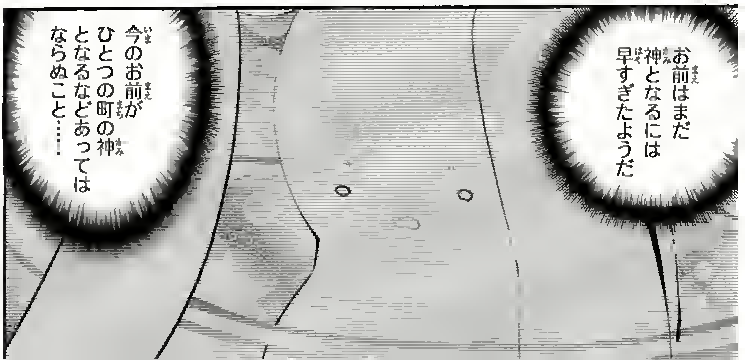
え――い
知らん知らん
知らんったら
知らん!!
昼も
ええカッコして
食いっぱぐれた
だろ 俺は!!


あぁ――
腹減った!!!
こんなトコ
とっとと抜けだして
たらふくうまいもん
食うぞ!!!

……
くくくくっ
しゃぁぁ
つはぁ――
ダメじゃ……
何度念じても
全く治らぬ…
うー 寒い
とりあえず
屋根の下に…
ベシャ
ベシャ
あっ
うっ



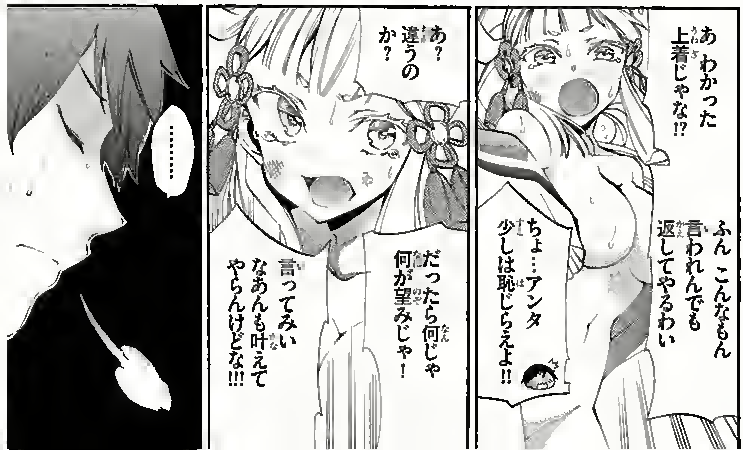

……痛い……
ものなのじゃな……
傷というのは…
痛みなど
感じる前に治して
いたから知らなんだ…


お前はまだ
神となるには
早すぎたようだ
今のお前が
ひとつの町の神
となるなどあっては
ならぬこと……

この日のために
努力して奇跡を
操る術を磨いて
きた
天界の皆は
わしの才能を
ほめておった
……なのに
何故ですか
父上……

こんな
不便な
体にされて
こんな
つめたい
地面の上で
力も資格も
すべて失って
これからも
ずっと
ひとりで……

……
なんでお主戻ってきたんじゃ
バカか？
まさかの悪態!!


ふん こんなもん言われんでも返してやるわい
ちょ…アンタ少しは恥じらえよ!!
あ わかった上着じゃな!?
だったら何じゃ何が望みじゃ！
あ？違うのか？
言ってみいなあんも叶えてやらんけどな!!!
……

あ――俺
昼から何も
食ってなくて
ですね
は!?
何のキミ?

学校じゃ
不良にからまれるわ
幼なじみにつきまとわれて
彼女とゴカイされるわ
バケツの水かぶるわ
好きな娘に
嫌われるわ

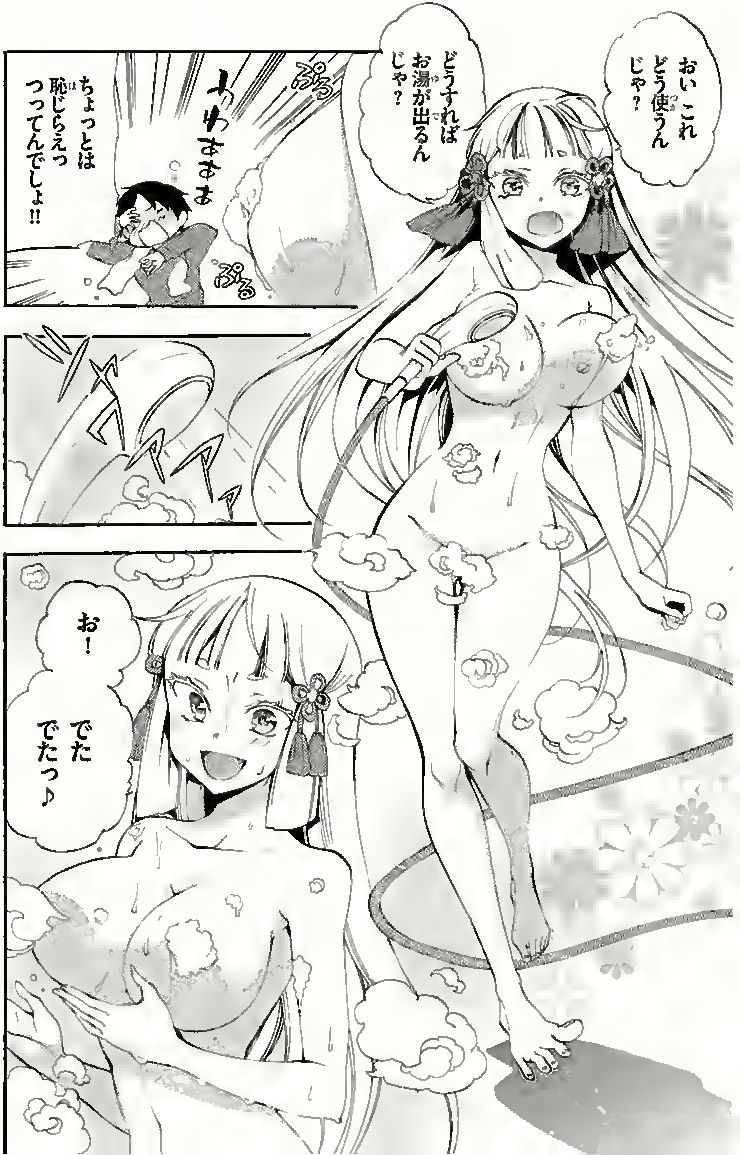
おまけに道に
迷ってこんな
ワケわからん
目にあうわで
もうこうなったら
夕飯はたらふく
うめーもん食って
やろうと
思ったんスけど

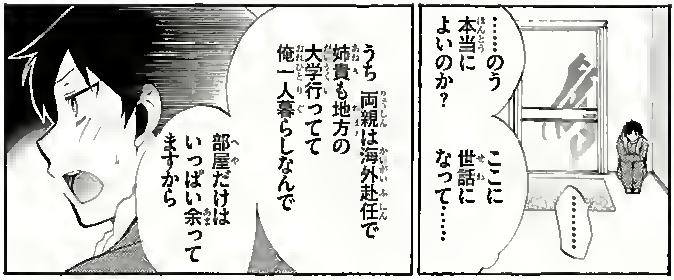
このまま
アンタをここに
おいてったら
たぶん
何食っても
まずいと思うんで

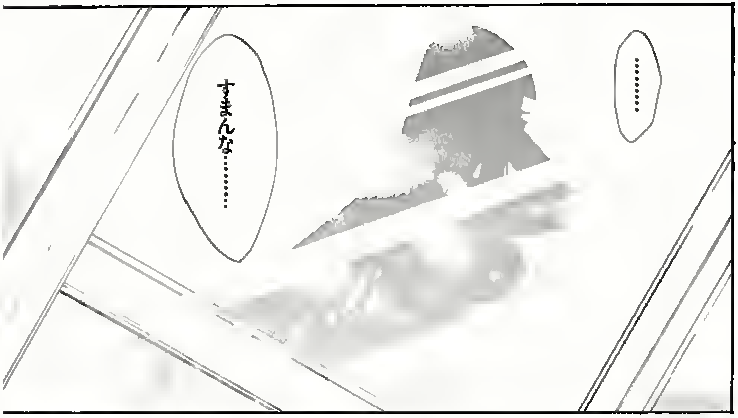
……ぷっ
ハハ
なんじゃ
その理由
ヘンテコな
奴じゃな
お主

……何か俺
ヘンなこと
言ったか…？
？
あっ
空！
晴れて
きよったぞ！

雨やんだら
視界よくなって
フツーに帰って
これたわ……
何だったんだ
……
あー着替え
ここに置いと
きますよ
姉貴の
ですけど……
!!
ガチャ


おいこれどう使うんじゃ？
どうすればお湯が出るんじゃ？
ぷる
ぷるるるる
ぷる
ちょっとは恥じらえっつってんでしょ!!
お！
でたでたっ♪


……のう
本当に
よいのか？
ここに
世話に
なって……
……
うち
両親は海外赴任で
姉貴も地方の
大学行ってて
俺一人暮らしなんで
部屋だけは
いっぱい余って
ますから


……
すまんな……

……
なんで…つい
勢いで
つれてきちゃったけど……
これからしばらくこの人と
一つ屋根の下
2人きりってコトだよな……

ゴゴゴ…

って何考えてんだ俺は!!
相手神様だぞ!?
ゴン
ゴン
そもそも俺にはバンビがいるだろバンビが!
ゴンゴンゴン
?

変な奴

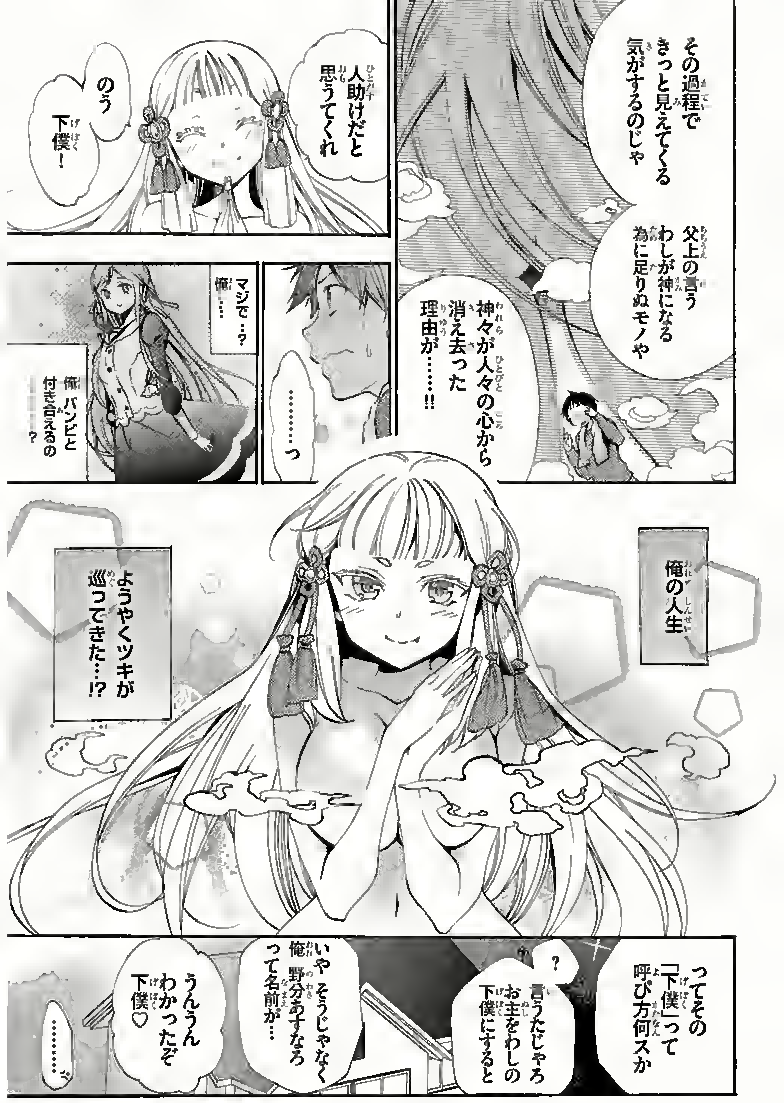
人としてこの地で
生きるがよい
さすれば
いずれ見えて
こよう

神々が人の心から
消え去った理由

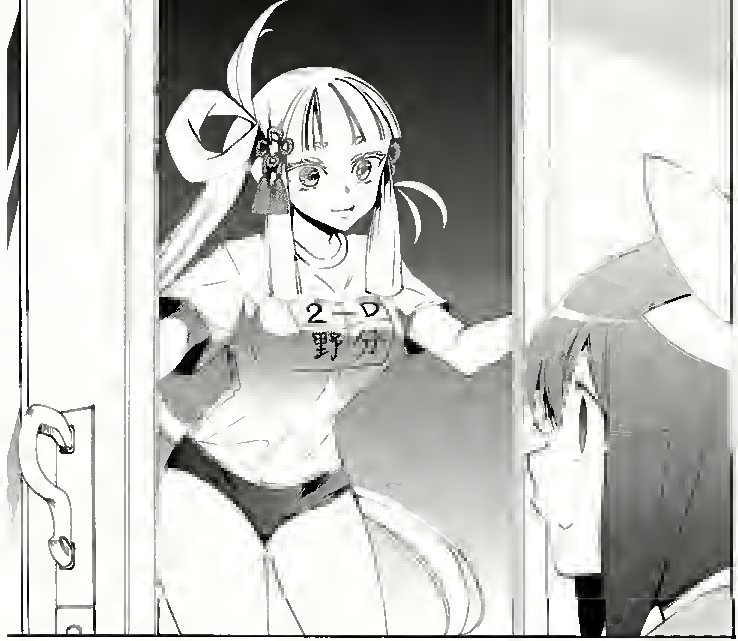
そして神とはいかなる
存在かということが——

それが
見えれば
今度こそわしは
神になれる
かのう……

お主の「バンビと付き合いたい」という願い！
わしが叶えてしんぜよう！
……!?
うむ…まあ残念ながら神の力でホイホイというわけにはいかんが…
どういう風の吹き回し…
てかだまされませんよあんた今何の力もないんでしょ！
しかし世話になる礼じゃ考え努力し最善を尽くす！
下僕よ必ずお主の願いこの得が叶えてやろうぞ！

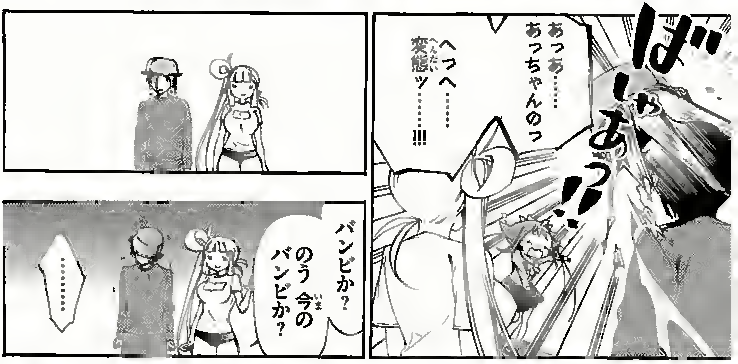

その過程で
きっと見えてくる
気がするのじゃ
父上の言う
わしが神になる
為に足りぬモノや
神々が人々の心から
消え去った
理由が……!!
人助けだと
思うてくれ
のう
下僕！
……っ
マジで…？
俺……
俺、パンピと
付き合えるの
？
俺の人生、
ようやくツキが
巡ってきた…!?
ってその
「下僕」って
呼び方何スか
？
言うたじゃろ
お主をわしの
下僕にすると
いや、そうじゃなく
俺、野分あすなろ
って名前が…
うんうん
わかったぞ
下僕♡
……ぺ

キケリキーで
買った開運魔法の
ハーブスープ
これであっちゃんの
運気もバッチリ
急上昇だよ～～～
※キケリキー：オカルトグッズ通販サイト
あっちゃん
一人暮らしで
大変だもんね
食べるものくらい
幼なじみのわたしが
用意してあげないと
……
あっ
あっちゃん！
あのね
これ 夜ごはん……


2－D
野分

!?
ど…ど…
どちら様ですか
神様じゃ
そ
その格好…は…
ん
これを着ろと言われてな
下僕に
ちょっと！
何勝手に出て――
って
みこと!?
2－D
野分

「見知らぬ女性」
「下僕」
「ブルマ」
「体操着」

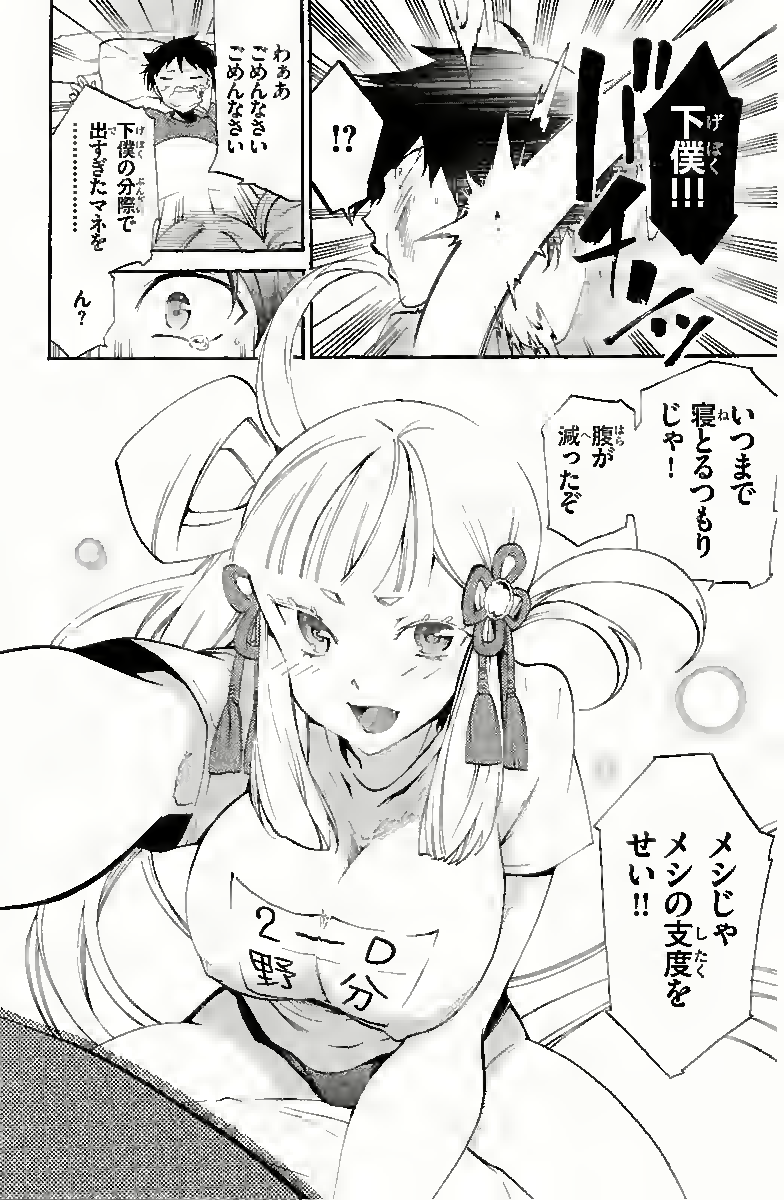

ばっ
あっ!?
あっ……
あっちゃんのっ
へっへへ……
変態ッ……!!!
バンビか？
のう 今の
バンビか？
……

俺の人生
うわぁあぁ
もおおおお
めんどくせぇ
えええええ
やっぱり
ツイて
ないのかも
しんない……

バンビー
第3話
野分くん……
わかってるよ
気にしてない
……
……でも
ズキ
昨日はごめん！
俺
パンツ見るつもりなんてなくて……
ケータイだって拾おうと思って…

!?
バ……
バンビ!?
私……
良かったんだよ……?
野分くんになら
見られても
うぅん
それ以上でも……

な……
何言ってんだよパンビ！
パンツしまえってホラ！
……いやっ……
果たしてそれが俺の本心か……？
ドキ
好きな娘が俺のためにこんな事してくれてるのを目の前にしてそんなワケないよな!?
違うよな？
ドキ
ツイてない俺がこんなチャンスに恵まれるなんてめったにないぞ……
ドキ
モノにしなかったら男がすたるー
行け……行け！
下僕！


下僕!!!
ドゴォン
!?
わぁあ
ごめんなさい
ごめんなさい
下僕の分際で
出すぎたマネを
……
ん?
いつまで
寝とるつもり
じゃ!
腹が
減ったぞ
メシじゃ
メシの支度を
せい!!
2-D
野分

第3話（だいわ）✧いいところ

のわぁあ
あぁあ
バラ
バラ
なんじゃなんじゃ
大声出して！
ラッピング
そりゃ そんな格好で
のしかかられたら
大声も出すわ!!
そ
そうだ…
そうだった！
得！
信仰を忘れた人間を
滅ぼそうとした罪で
力を全て奪われて
天界を追われた
自称
「この土地の神様」

うっかりとんでもねえもん連れて来ちまったんだった…
これも夢だったらいいのに……
……これは
!!
ん？

か返せよっ
かわいい娘ではないかぁ
ひょっとしてこれが想い人か？
ん？
やめろオオオ

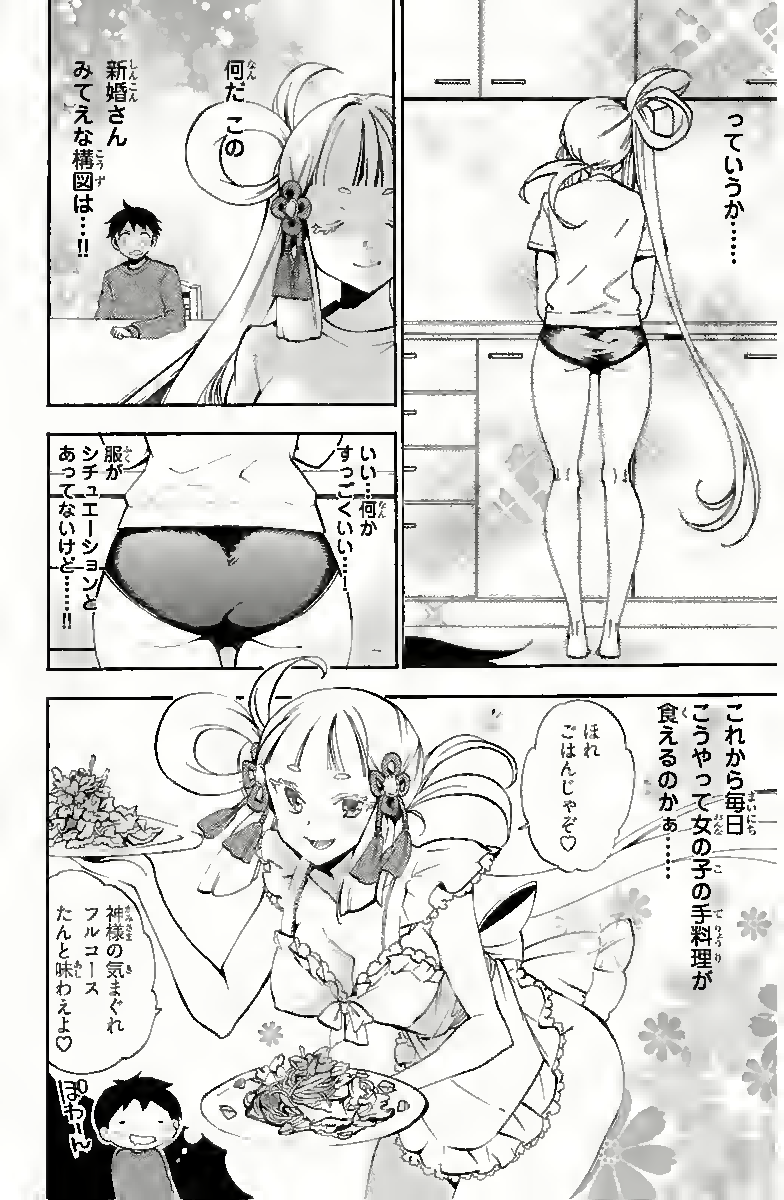
そうかそうかぁ
先程パンツパンツ寝言を言うとったのは
こやつのパンツを見る夢でも見とったんじゃな♡
……
夢だったらどれだけよかったか……

ほんとに見ちまったんだよバンビのパンツ…
……良かったではないか
ああ良かっ…良くねえですよ良かったけど良くねえ!!
気まずすぎるでしょ
今日 どんな顔してバンビに会えばいいんだか
さっきの夢みたいなうまい展開あるわけねーけど……
せめて夢の中の俺みたいにビシっとバンビに謝んねーとな…
おいメシこれだけか
これじゃ身も心も満たされんぞ
あんたねぇ居候の分際でちょっとは遠慮しなさいよ
何じゃと!! わしは神様じゃぞ! 敬わんか!
あそーですかそーですかじゃ牛乳もつけてやりますよホレ!
せっかく神様が現れたってのに何の力も持ってねーんだもんな…
メシくらいポッと出してくれりゃいいのに

ん なんじゃあ
食材ちゃあんと
あるではないかぁ
って勝手に冷蔵庫
開けないでよ
ちょっと!!!
…それ みこと…
幼なじみが
勝手に持って
くるんすよ
料理苦手だし
する時間もねーから
いいっつってんのに
野菜も
食べなきゃだよ
あっちゃん!
通販サイト
キケリキーの
オススメ詰合
野菜セットなんだよ——

よしっ
じゃあ わしが
コレで何か
作ってやろう
えっ

下僕 お主にも
ちょびーっとだけ
おすそわけしてやるぞ
優しくい神の下僕に
なれたことを感謝
するんじゃな!
2—D
野 分
そ…そっか
別に神通力的なものが
使えなくなったって
だけで
良く考えたら
料理できるか
できないかは
別問題だよな…


っていうか……
何だ この
新婚さん
みてえな構図は……!!
いい…何か
すっごくいい…!!
服が
シチュエーションと
あってないけど……!!
これから毎日
こうやって女の子の手料理が
食えるのかぁ……
ほれ
ごはんじゃぞ♡
神様の気まぐれ
フルコース
たんと味わえよ♡
ばわーん

って
何考えてるんだ
なんで素っ裸に
エプロン!?
そもそも俺は
バンビ一筋
……
ドーン
ズーン
ガシャン
ありゃー
思ったより
難しいのう
2-D
野分
…ひょっとして
料理したこと
ないんすか?
あたり前じゃろ
神様じゃもの!
余計な仕事
増えちゃった
じゃないすか!
んも——
できないなら
できないって言って
下さいよ!
ホラ
片付け
手伝って!!

片付けって…
どうやるんじゃ？
ハラッ

片付けもしたことないんすか!!
ごろごろん
当たり前じゃろ神様じゃもの
さっきから何の説明にもなってねーしえっへんできる事でもねーよ!!
不便じゃのうこう…何事も力を使ってぺいっと片付けられんのは…
ぺいっと

！
やっべ もうこんな時間
学校遅刻しちまう
これ以上余計なことしないでじっとしてて下さいよ!!
いいすか これ俺婦ってきたら片付けますから
ドタドタ…
ドタドタ…

学校……
パンピと付き合わせてくれ！
……ふむ
まずは状況や相手を把握せねばな！
ようし！
2野一D介

ダッ
ダッ
ダッ
くっそ――
朝から
ツイてねえ！
学校
間に合うか!?
朝サクっと
あやまっちまう
つもりだったのに！
遅刻してたら
ハナシにならねえ
じゃん！
間に合え
間に合え
間……

うえええええん

えええええええん

おばあちゃん
どこ――

おばあちゃ――ん

うえ…えん

ホント……
朝からツイてねえなあ……

おい
どーした

おばあちゃんのおうちにあそびにきたんだけどばしょがわからないの

迷子か――

とりあえず交番行くか

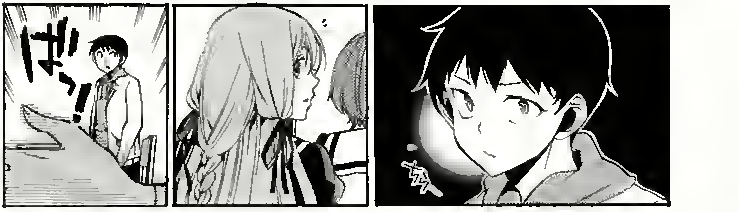
ひぇ…

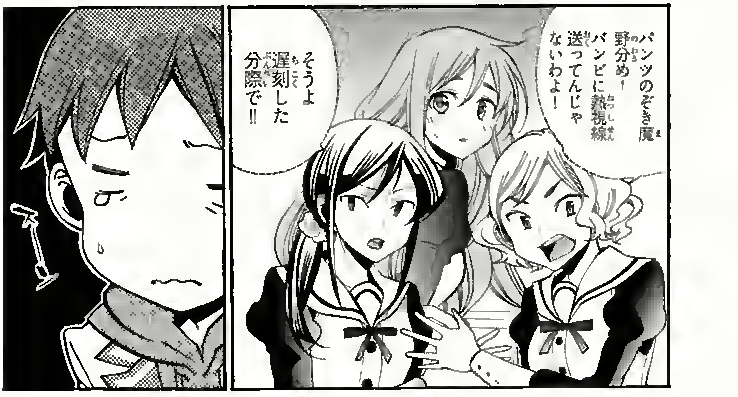
みこと——
今日はあの幼なじみ君と一緒に登校しなかったの
うん…
今日からは別々に帰ろうぜ！
ってことはいっしょに登校するのもダメだもんね……

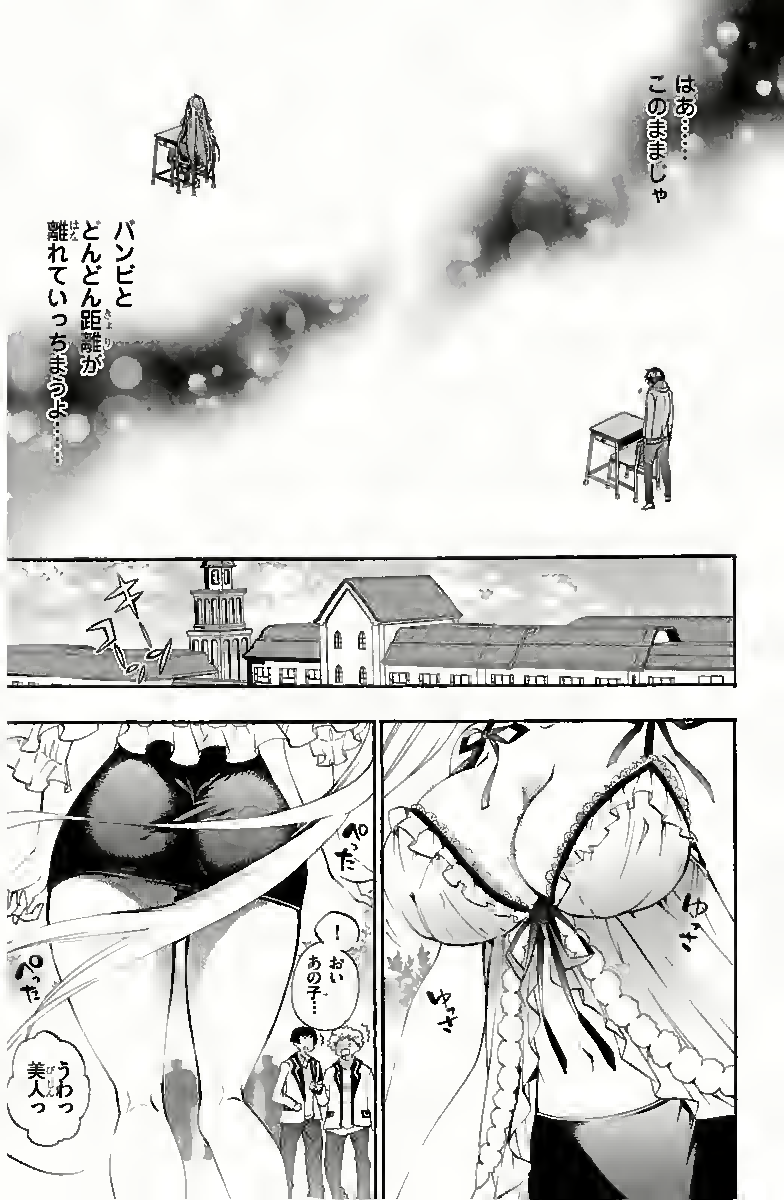
昨日
あっちゃんの家にいた
あの人……
2野分
誰だったのかなぁ
2野分
ちま
いいなぁ…
？

だからね——
今日幼なじみ君
遅刻してたよね
えっ
ぴえっ
わ…わたしが
迎えに行ってる時
あっちゃん いつも
支度すませてたのに…
遅刻なんて
ぜったい
おかしいよ…!!
ぴえっ
ごめんね
あっちゃん……
わたしが
ついてなかった
はっかりに…
やっぱり
あっちゃんの
側には
わたしが
いなきゃ
ダメなんだ
ぴえっ
安心して
あっちゃん
これからは
何があっても
わたしがちゃんと
守るから!!
ぴえ
ん!
みごと
恥ずかしい
から それ
しまって!

2-2
野分イイイイ
この俺の授業に遅刻するとはいい度胸だ 見せしめに立ってれず――っと立ってれ!!
あと今日の問題ぜんぶ当てるぞ!!
よりによって鬼教師鬼瓦の授業中だったとは……
ツイてない……
今日あてられるんだっけ
むむー
ニヤー


ばっ!


パンツのぞき魔野分め!
バンビに熱視線送ってんじゃないわよー
そうよ遅刻した分際で!!

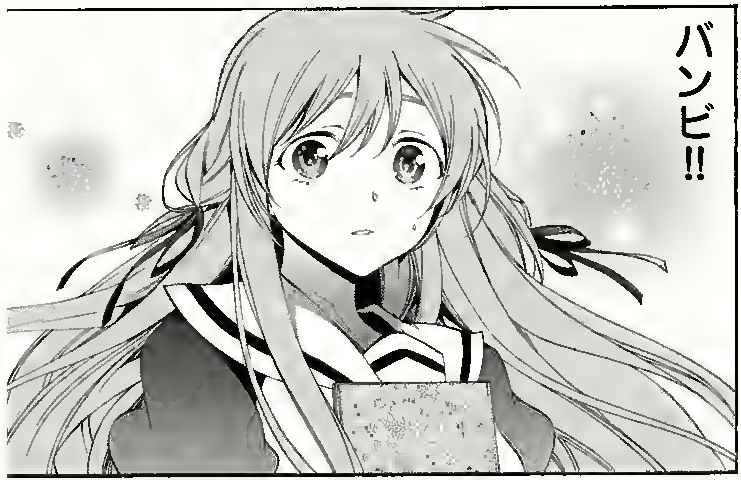

はあ……
このままじゃ
バンビと
どんどん距離が
離れていっちまうよ……
ゆっさ
ゆっさ
ぺったん
ぺったん
！
おい
あの子…
うわっ
美人っ

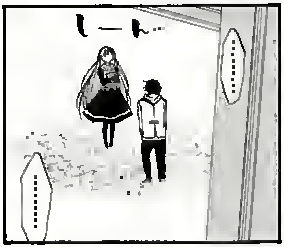
でも何て格好だ…
ハダシ…
上に着てるの下着だよねアレ……
ぺたぺた
ぺたぺた
それにしてもすっげー色白美人だな――
おっぱいでっけぇ……
あんなキレーな人がウチに何の用だろ……
！
おい お主ら！わしの下僕を知らんか？
えっ
下僕？
そうじゃ下僕じゃ
名を何と言ったかのう
え――と

そう！
野分！
野分
あすなろ
じゃ！
!!!!

職員室
失礼
しましたー
遅刻しただけで
この宿題の
多さよ……
さすが
鬼教師鬼瓦……
そもそもあの女が
ヘンなことやらかさ
なければこんな事に
ならんかったのに！
もはや
疫病神だろ
アイツ！
帰ったら
いつの
私らがしたのの
復讐も
しなきゃだし…

……っ


バンビ!!


ピート
……
……

ど…どうしよう
急すぎる…
そうだ
謝んなきゃ
昨日のこと…
ドキ
ドキ

ガードマン
みてえな
友達もいねえし
チャンスだ……
行け……!
ドキ
ホラ行け
ホラ!
ドキ

情けねえっ……

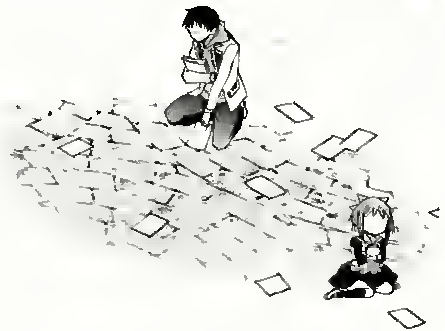
声――
出ねえじゃねえか……!!

ヒュ…

!!
うわ……！
しゅ
宿題が
!!
なんでこんな時に
風が
!!
あわわ
クソっ
ツイてねえ!!

あっちゃん！
大丈夫？
……みこと…

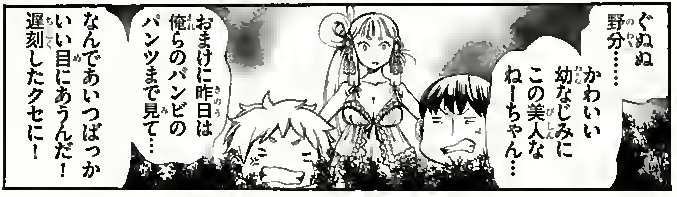
この宿題の量は
鬼教師鬼瓦だね……！
ごめんね
あっちゃん
わたしが一緒に
登校しなかったから……
あっちゃん？
どしたの……？
いや……
パンピ……
いなくなってる

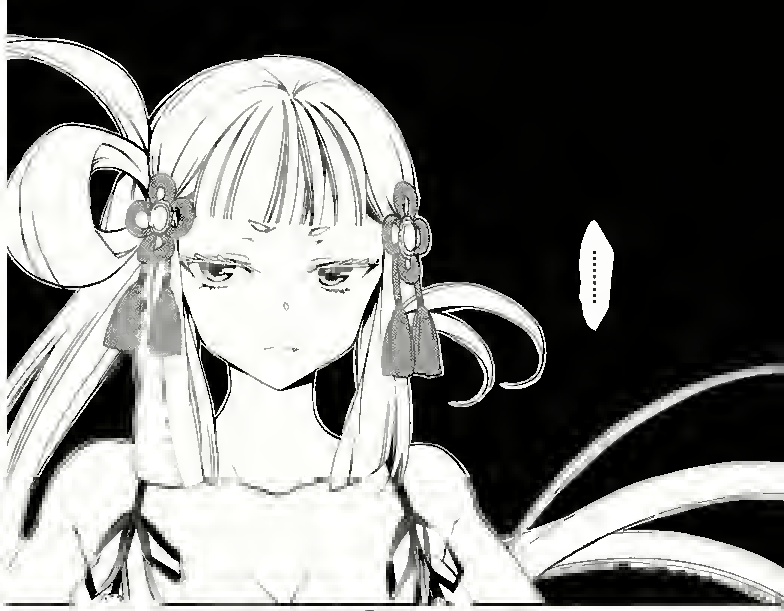


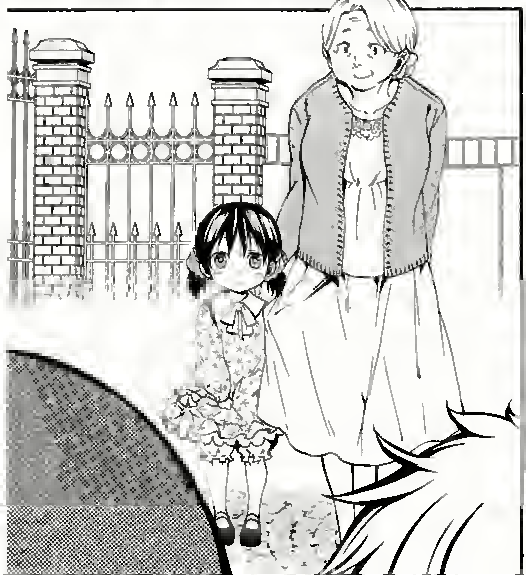
……終わったな……

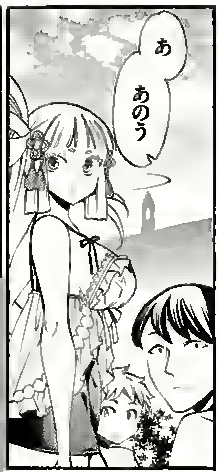
タイミングの悪さとさっきの風も――
「こんな俺にパンビなんて高嶺の花はもったいない」
「人力車に…」
そーゆー事っっと……

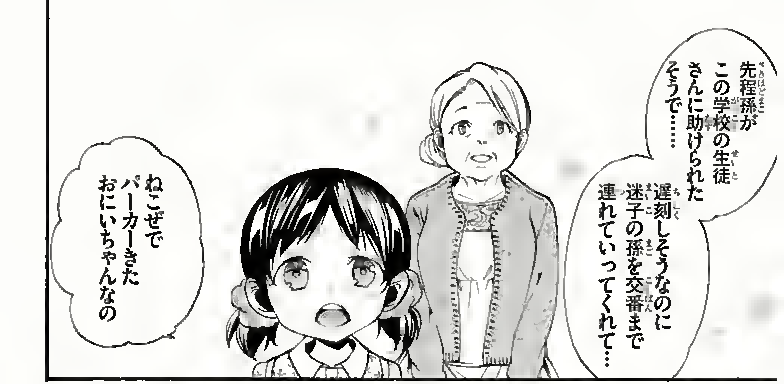
ハイこれで全部かな
行こあっちゃん
ありがとなみこと

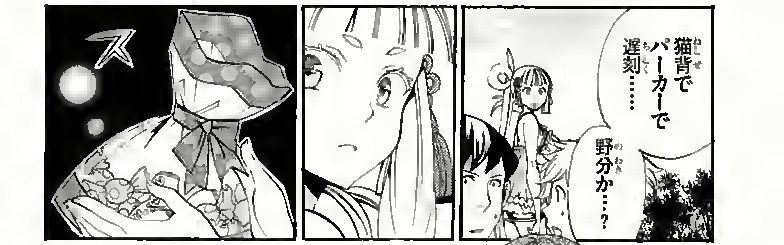

ぐぬぬ野分……
かわいい幼なじみにこの美人なねーちゃん…
おまけに昨日は俺らのパンビのパンツまで見て…
なんであいつばっかいい目にあうんだ！遅刻したクセに！

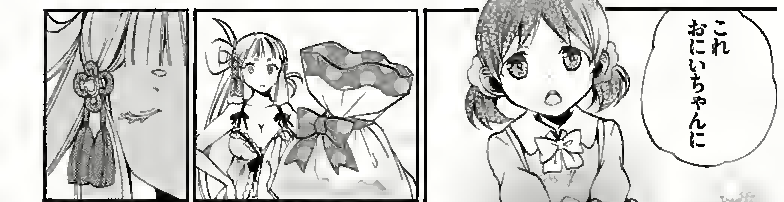

……




あ
あのう


先程孫がこの学校の生徒さんに助けられたそうで……
遅刻しそうなのに迷子の孫を交番まで連れていってくれて…
ねこぜでパーカーきたおにいちゃんなの


猫背でパーカーで遅刻……
野分か…？

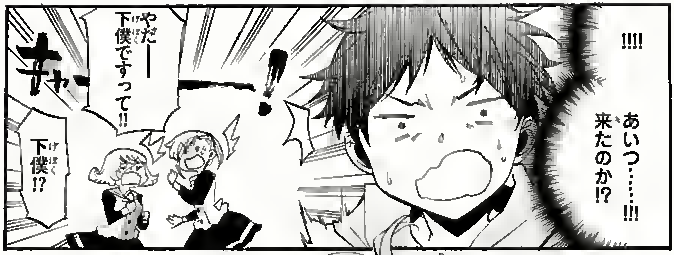

これおにいちゃんに
ありがとうしたくって……

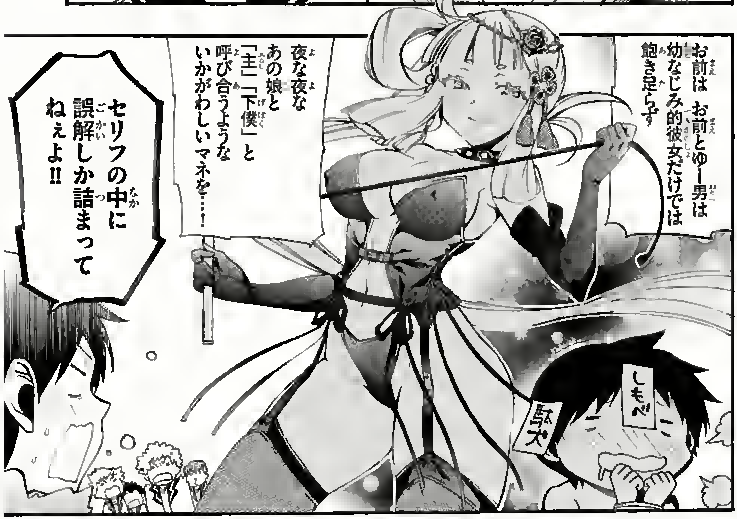
うむ
うまそうな飴じゃの
あ

承知した！
野分は
このわしの
下僕――
主である
このエルが
責任持って
渡しておこう！
あれ？
帰っちゃうんすか？
野分に
会わなくて
いいんすか？
なんだよ
修羅場が
見れるかと
思ったのに
つくづく
運の
いい奴め！
おばあちゃん
「げぼく」って
なあに？

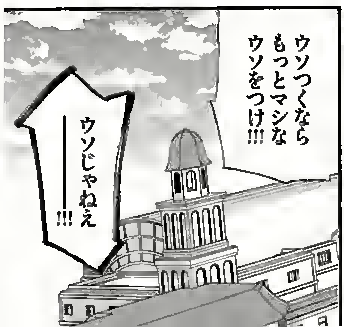
ふう
!?
おう 野分
待ってたぞ
ズン
な…何だよっ
皆して出る
漫画の種類
まちがえたみてェな
顔してっけど！
ゴゴゴ…
お前……
あの美人は
いったい何者だ
……？
へ？

お前の事を
下僕と呼ぶ
あの美人のことだよ！
おっぱいでっかい
ムッチムチの
色白美人だよ！
エルって名前の
ジジババ言葉が
キュートな
チャーミングハニーだよッ!!!


!!!!
あいつ……!!!
来たのか!?
やだ――
下僕ですって!!
下僕!?
下僕!?


お前は お前とゆー男は
幼なじみ的彼女だけでは
飽き足らず
夜な夜な
あの娘と
「主」「下僕」と
呼び合うような
いかがわしいマネを……!
セリフの中に
誤解しか詰まって
ねぇよ!!
しもべ
下僕

まあ
聞けよ! あいつは
ただの神様で
突然俺の前に
現れてだな…


ウソつくなら
もっとマシな
ウソをつけ!!!
ウソじゃねえ
――!!!

ちくしょー
あの女ッ
いいかげんに
しろよっ!!

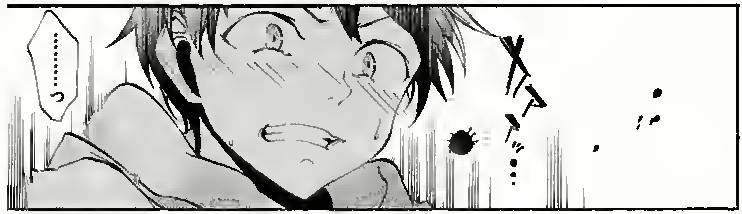
ようやく
帰ったか
下僕
遅いのう
何つーカッコだ!
まさかそれで
学校に来たの!?
お主の
姉の服
じゃろが

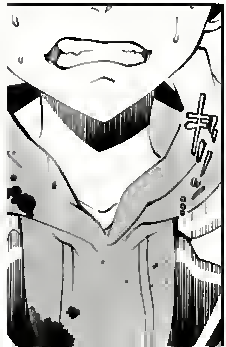
こらーッ
この疫病神!!
なに
ウチの学校に
勝手に……

しっ…
しょーがねーじゃんっ
謝ろうにも
風が吹いて…
宿題がッ…

見たぞお
お主の情けない姿
せっかくのパンピと話せる機会だったのにのう
!!

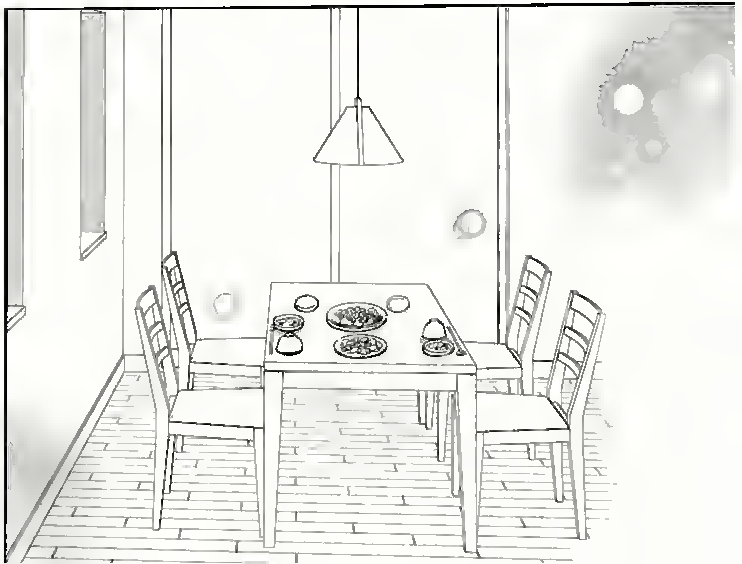
自分の度胸が
足りぬのを風のせいに
して勝手にあきらめ
たんじゃろがい
見苦しい
言い訳
しおって


……っ



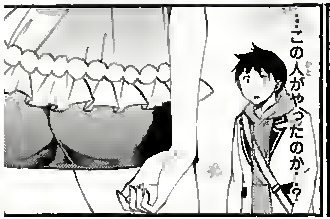
やれやれ
こんなのがわしの
下僕とはな
まあよい
とにかく
わしは腹が
減ったぞ

いい加減にしろよ！
なんであんたにそんな事言われなきゃなんねーんだ！
こっちはあんたのせいでふんだりけったりだってのに…
その上なんであんたのメシの支度や散らかしたのの片づけまで……



……

メシ
それに
台所
片づいて……

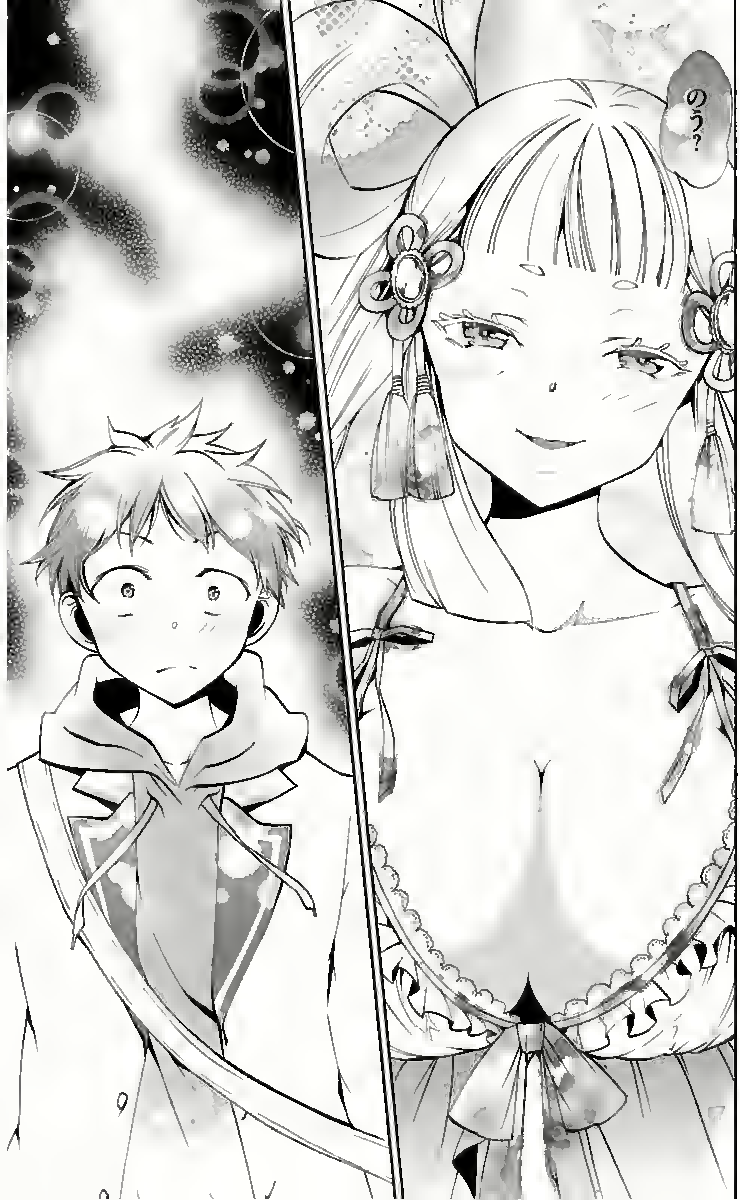

……この人がやったのか…？

ま
何事も
あきらめなければ
出来るようになる
ちゅー事じゃな
！

これ……
お主が今朝
手助けした
子供からの礼じゃ

バカじゃのう
自らが遅刻
してまで…
……そうだよ
あんたの
言うとおり
どーせ
俺は……

…じゃが
わしは
嫌いでは
ないぞ
お主の
そういう
ところ
……うむ
「いいところ」
じゃと思う
お主の
「いいところ」
あきらめなければ
きっといつしか
バンビにも伝わるやも
しれぬのう

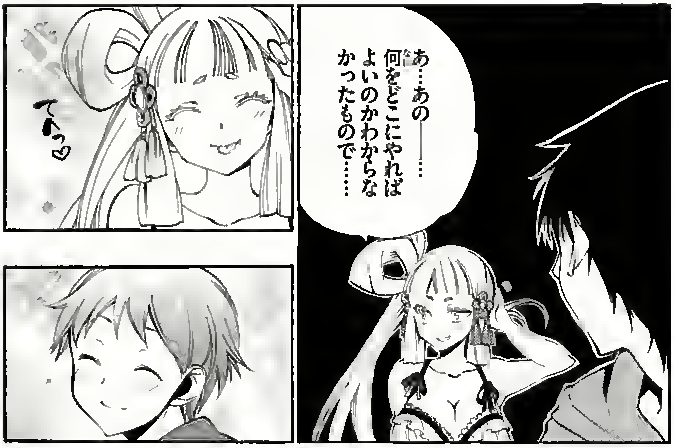

のう？

ま それを伝わるようにするのがわしの役目ってトコじゃな
努力するとしよう 神として
今日のところはたらふく食べて元気を出すがよい！
まったく不器用な下僕を持つと大変じゃのう
ん――。

……何だよ自分だって不器用じゃんか
神様のクセに……
「いつかバンビにも伝わるやもしれぬな 「お主のいいところ」」
……「いいところ」……なのか？
よくわからん

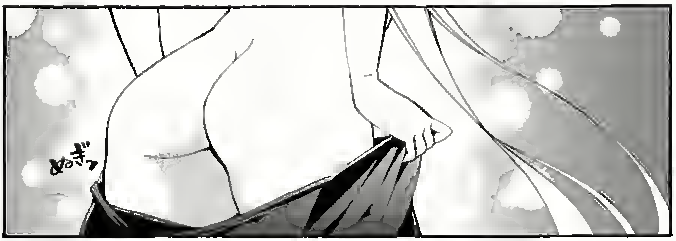
でも……

さあ このエル様 お手製のごはん じゃぞ！
一口一口 ありがたく 食うがよい！
わかった わかった
いただきま――す
ぱくっ
だーっ
まっず…
うむ……まっずいのう……
ガシャーン
うわ!!?


あ…あの——…
何をどこにやれば
よいのかわからな
かったもので……
てへっ♡

——なんて
「テへっ」で
許すとでも
思ったか!!!
これは
「片づけた」とは
言いませんよ
この疫病神が!!!
ま お互い
できぬものは
すぐにはどうにも
ならんから時間を
かけて…な
うまいこと
言ってまとめ
ようとしてん
じゃないよ!!

第4話

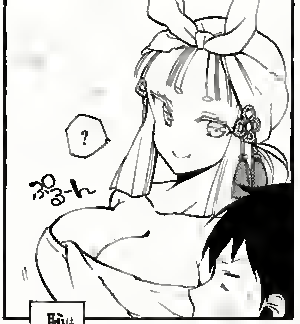


そんな俺の前に
突然 神様が
現れた
信じられんけど
神様だ
俺の人生に
ようやくツキが
回ってきた——
——と思ったのに——
神になる資格が
ないからって
全ての力を
奪われた上
今までその力に
頼りっぱなし
だったから
料理も片づけも
できやしねえ
今やあいつは
ただの神様の
しぼりカスだ…

どうして
神様のしぼりカスの
面倒をおはようから
おやすみまで見て
やらにゃならん
のだ……
これだって
あいつが
散らかし
たんだし
くそっ
俺の人生
やっぱりツイて
ない……

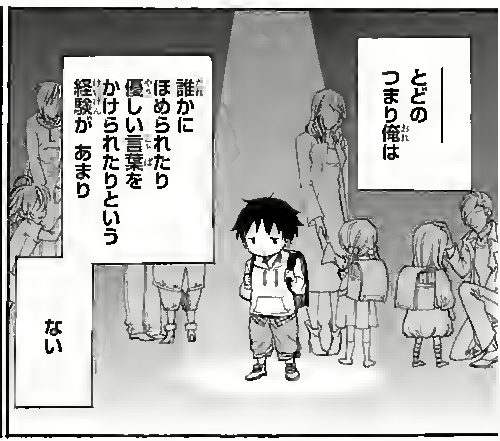
そんな気の
長い話じゃ
ないだろう
ま それも
あいつが「神様」の
「本当のあるべき
姿」とやらを見つ
けるまでの話だ
こんくらい
片づけりゃ
いいか……
ふう
お——
きれいに
なったのう
!
!

感心
感心♡
ほめて
つかわすぞ
下僕
服を
着なさいよ
服を!!
ったくいい気な
もんだよ
自分だけ
風呂入って…
にゅっ
!
気がすすまなくとも
一生けんめい
取りくむのじゃな♡
えらいのう♡

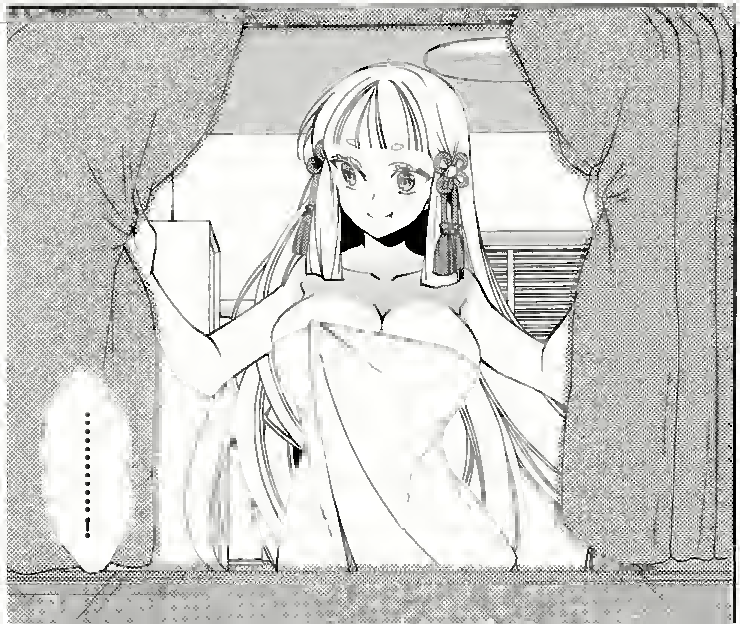


俺の両親は
しょっちゅう
海外赴任
年の近い姉
とはあんまり
話も合わな
かったりで

学校でも
そんなに成績が
いいワケ
でもなく
友達とは
バカ話
ばっかりで



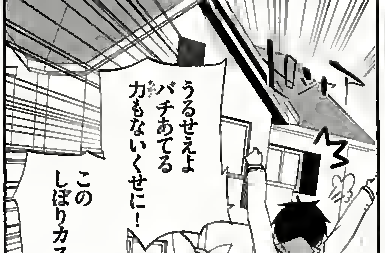
……
は？
って何コレ!?
ついてんだ!
俺にはバンビっつー想い人が……
え――い
風呂!!
とっとと
風呂
入ろう!!


……!!

第4話✧俺が本当に欲しいのは

おはよう
あっちゃん！
俺と一緒に行くのやめたんじゃなかったのかみこと
だってあっちゃんわたしがいないと色々ヘンなことに巻きこまれるもの
これからはわたしがしっかり守るからね！
その5歳児ご用達みてえなステッキで何から守るというのだ…
お――い下僕！
メシどこじゃわしのメシ!!
だ――もうまた何つーカッコで
冷蔵庫に入ってるでしょラップがかかったやつ！
命や飯か!!あったかいのがいいぞ!!
あんたが冥坊すんのがいけないんでしょ！

なんじゃい
なんじゃい
神様じゃぞ!!
ぞんざいにしたら
バチがあたるん
じゃからな!!


うるせえよ
バチあてる
力もないくせに!
このしぼりカス!

ったく……
じー
ん?

あっちゃん
この前から
気になってた
んだけど
あの女の人
いったい誰
なの……?

うわぁ
……
すげえめんどくせえ
カンちがいをした
目だ……

どーする？
ホントの事言っても信じてもらえんだろうし
かと言ってウソつくのも…
……
か
神様!?
ひぇっ!?

ほんとに…
ほんとに神様なの……？
ん――
スマホ充電してもらったり風邪治してもらったりしたからたぶん本当…
祀られたい

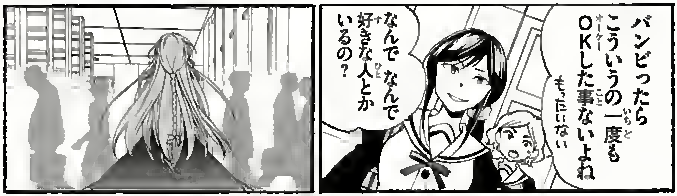
……鳴が豆鉄砲食らったような顔を……
そりゃそうだいくらみことがオカルト大好きだからってこんな話そうそう信じてもらえるワケが…

す
すごい!!
あっちゃんの家に神様が住んでるなんて……!!
…思っていたよりずっと筋金入りのオカルト好きになっとる
すごいねえすごいねえ
はあ…なんでこう俺の周りにはヘンな人が集まって…
……よかったあ
神様がそばにいてくれるなら安心だよ～～～!
あっちゃんひょっとしてツイてきたのかもこれできっとしあわせになれるね!

ヘン…だけど悪いやつじゃないんだよな
こいつも
あの神様も……
ツイてきたのかも…か……
うん
そう考えた方がいいよな確かに
おい待てよ――
お前がそんなはしゃぐことないだろ
!?
ガブ
あらら ごめんね 大丈夫…？
やっぱツイてないかも しらん…
ペロペロ
ペロペロ
ペロペロ

じゃあっちゃん
わたしこっち
だから……
おう
バサバサ…
バンビ!!
おー 今日も
入ってる ね
バンビー
あれ全部
ラブレター?
なんて量だ…
このデジタル
全盛時代に
なんて
古典的な
……
おことわりの
お手紙
書かなきゃ……

!?
え――！
まだ中身の確認もしてないじゃん！
いい人いるかもしれないよ？
あ ホラこの人 確かバスケ部のイケメンだよ？


バンビったらこういうの一度もOKした事ないよね
もったいない
なんで なんで好きな人とかいるの？

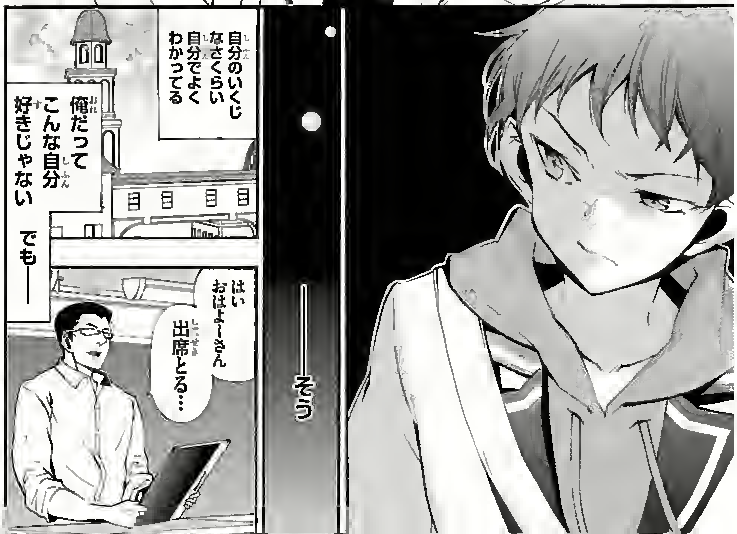
私なんて……
……

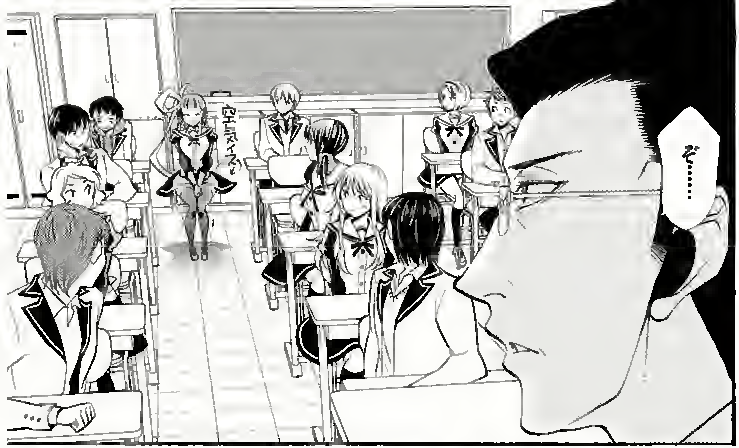
……？
え 何何？ バンビ 聞こえなかった——
俺も聞こえんかった…
にしても……
モテすぎだわ 心折れるわ…
KEEP OUT
話しかけないで下さい!!
全員中身どころか名前の確認もせずに断るなんて
言いよられたりすんの自体迷惑なのかもしれないな…
って
!?
何だこのイメージは!!
…ともかく
こんなんじゃどーせ頑張ったって結果は目に見えてる
これ以上嫌われるより
このまま遠くから眺めていた方が……

な――に
やっとんじゃ
話しかける
絶好の機会
ではないか
エル！
なんで
ここに……
つーかなんで
ウチの学校の
制服――!!
お主の願いを
叶えてやるために
わざわざ来てやった
のではないか
服はお主の
姉の洋服ダンス
に入っとったぞ
この方が何かと
動きやすい
であろう？

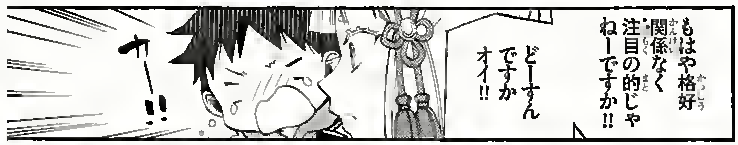
うそだった
姉貴と同じの
卒業生だった
って格好だけで
ごまかせるわけ
ないでしょうよ!!
まかせろ!!
わしは
神様じゃぞ
!
また出たよ
根拠の無ぇ
えっへん!!
それよりもなんでそう
お主は何でも
かんでもホイホイ
あきらめるんじゃ
行動に
移す前
から
あっ…あきらめて
なんてねー
ですし!
俺はですね
あんなラブレター
攻撃の直後じゃ
男子と話すのも
疲れてるだろーと
思ってワザと
言いわけ
だけは
得意じゃな
情けないのう
わしの下僕とも
あろう者が
話しかける
くらいパァと
できるじゃろ
パッとビッと
ブッと

あんたには
わかんない
でしょうよ
今まで「力」と
やらで「何」っ
不自由しなかった
あんたには
俺の気持ち
なんて……


自分のいくじ
なさくらい
自分でよく
わかってる
俺だって
こんな自分
好きじゃない
でも——
——そう
はい
おはよーさん
出席とる…


ぞ……

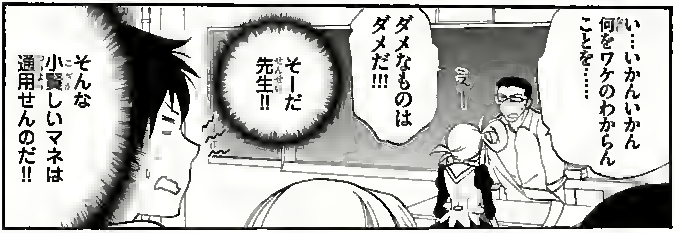
誰だ そこの部外者!!
ありゃー
ダメじゃったあ!!
!?
あたり前だ!!
誰? 誰?
かわいい……
あ 昨日学校に来てたよあの娘
何っ じゃああれが野分と主下僕と呼び合う仲の…


もはや格好関係なく注目の的じゃねーですか!!
どーすんですかオイ!!
カー!!

やれやれ
やはりその場をごまかしてやりすごすというのはいかんっちゃー事じゃな
先生…

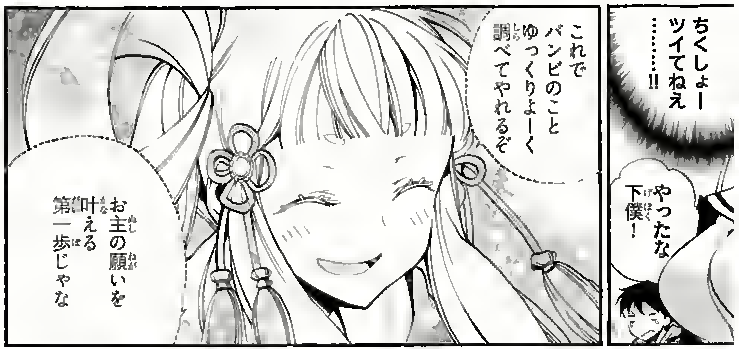
この学校のこと
先生のこと
どうか私に
優しく教えて下さいませ…♡
実は私神でして
人間界の事を良く知るため野分君の家に居候して修行しておりますの

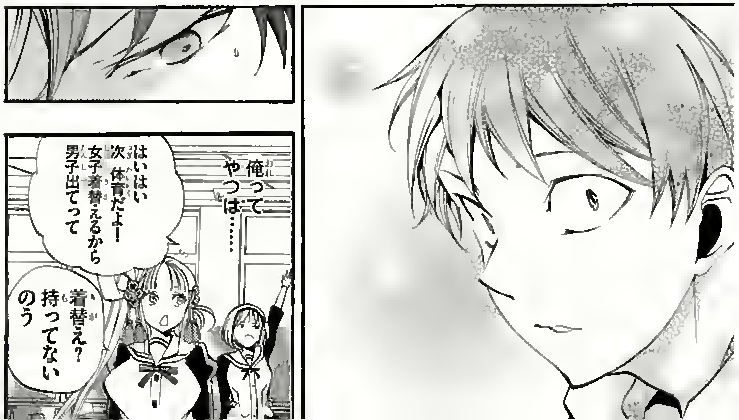
ぬふっ…
何だそのキャラ
どこで覚えた

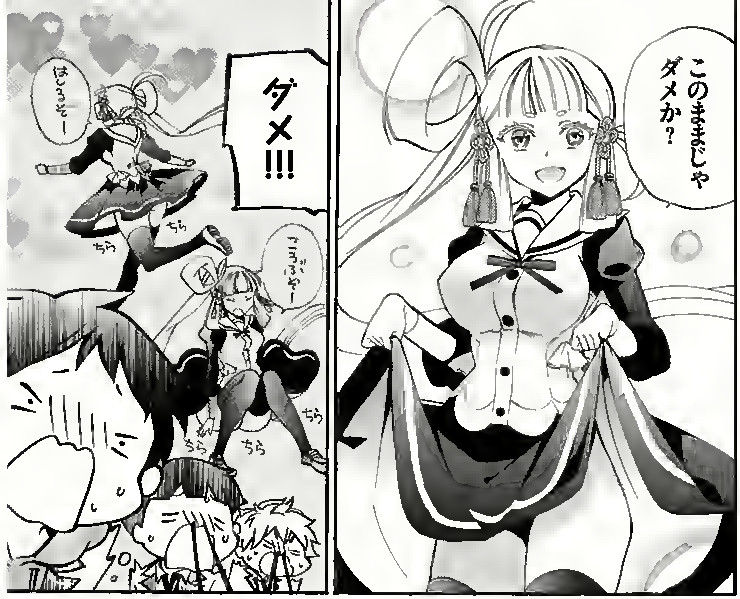

い…いかんいかん何をワケのわからんことを……
ダメなものはダメだ!!!
そーだ先生!!
そんな小賢しいマネは通用せんのだ!!

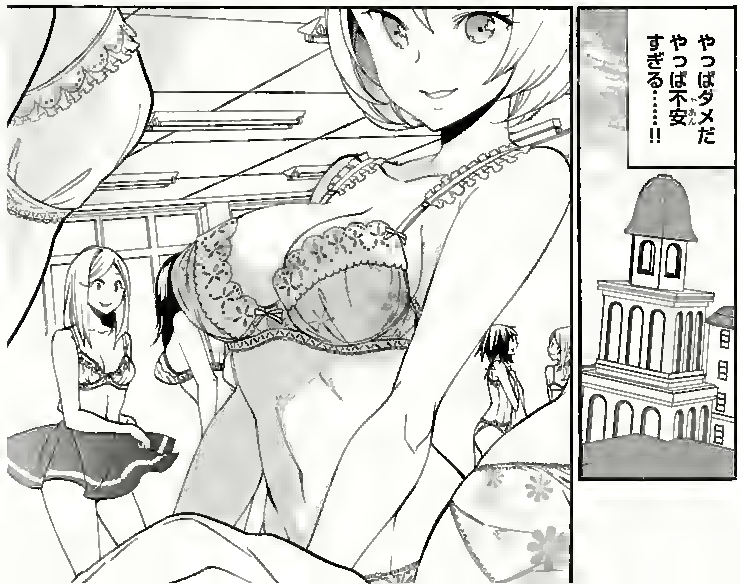
先生!!
いいじゃないスか先生!!
神様の留学なんてめったにないスよ!
断ったらバチあたりますよ!!
そうだなあ
まあいっか——♡
エルさーん
エルさーん
男子全員やられおった
色仕掛けに
ちょっと野分学校に女連れてきたの?
何サイテー
そして何故か俺に女子の殺意の矛先が……
パンピにも変に声かけてるに違いねえ
何してくれてんだよアイツ……!

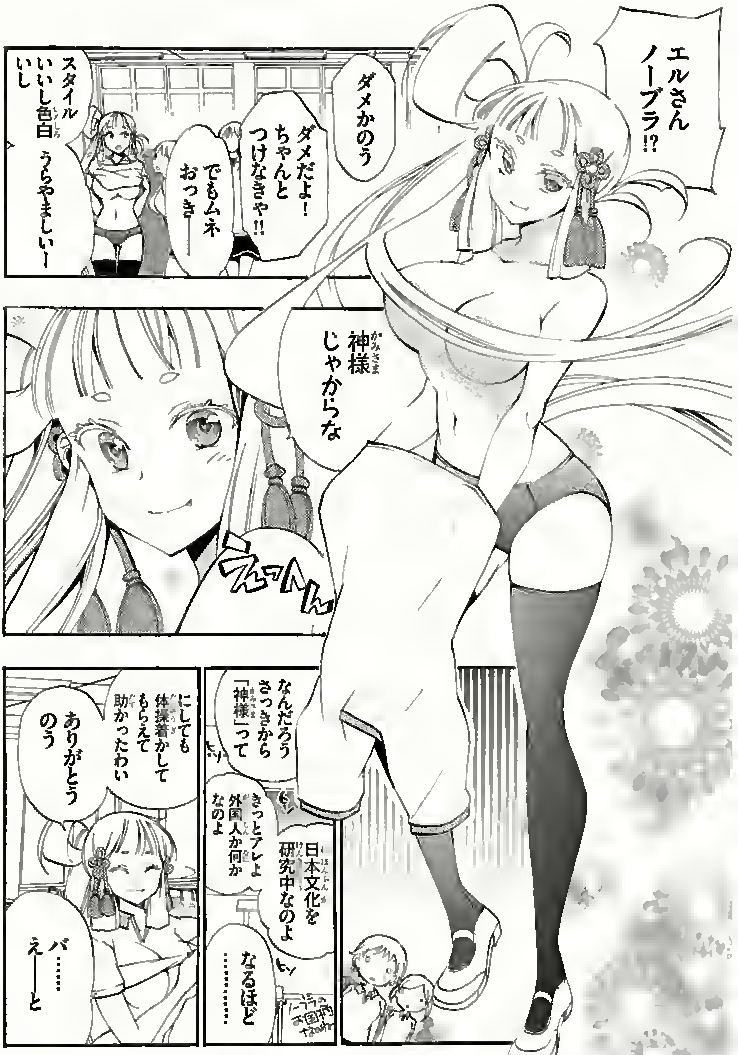
見たか 下僕
これが
神の力よ
ただの
色仕掛け
だっつってん
だろ
このバーブリンが…!!
無責任な
第二号どもが
ちやはやしおって…!!
どーすんだよ
家だけでなく
学校でもこいつに
振り回されるなんて…!

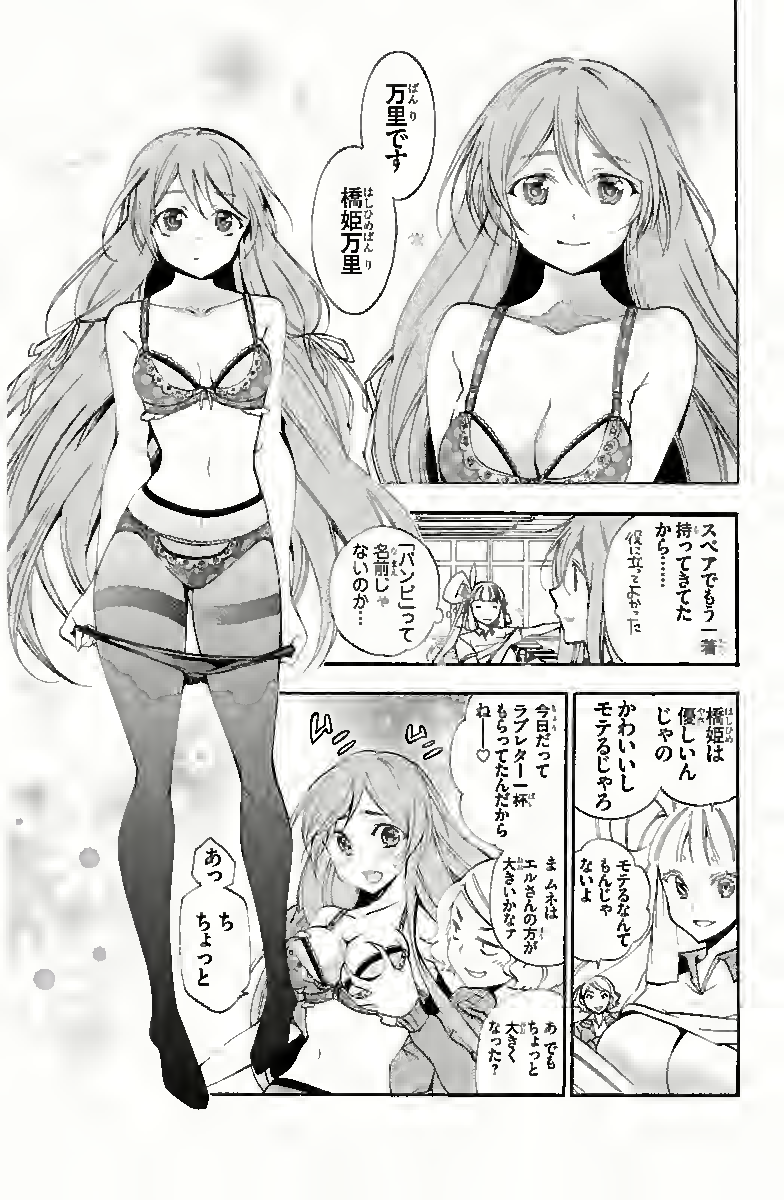

ちくしょーツイてねえ……!!
やったな 下僕!
これでバンビのこと
ゆっくりよーく
調べてやれるぞ
お主の願いを
叶える
第一歩じゃな


俺ってやつは……
はいはい
次、体育だよー
女子着替えるから
男子出てって
着替え?
持ってないのう

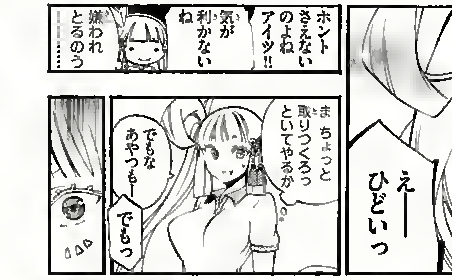

このままじゃダメか？
ダメ!!!
ちら
ちら
ちら
ちら
ちら
ちら


やっぱダメだやっぱ不安すぎる……!!

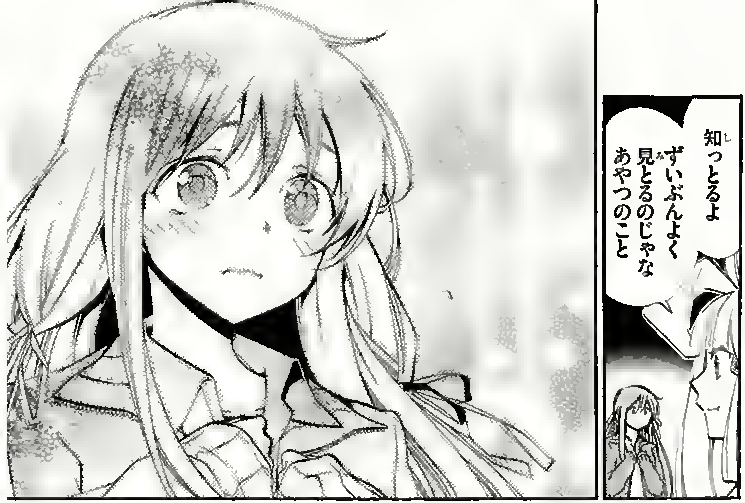

エルさん
ノーブラ!?
ダメかのう
ダメだよ！
ちゃんと
つけなきゃ!!
でもムネ
おっきー
スタイル
いいし色白
うらやましい
いいし
神様
じゃからな
うんうん
なんだろう
さっきから
「神様」って
きっとアレよ
外国人か何か
なのよ
日本文化を
研究中なのよ
なるほど
にしても
体操着かして
もらえて
助かったわい
ありがとう
のう
バ……
え――と


万里です
橋姫万里
スペアでもう一着持ってきてたから……
俺に貸してよかった
「パンピ」って名前じゃないのか…
橋姫は優しいんじゃのかわいいしモテるじゃろ
モテるなんてもんじゃないよ
まぁネはエルさんの方が大きいかなァ
今日だってラブレター一杯もらってたんだからねー♡
ムニ
ムニ
あっ
ち
ちょっと
あでもちょっと大きくなった？

そういえば
エルさんホント
野分と一緒に
住んでんの？
うん
そうじゃ
よ——
あいつ
ひどいんだよ——
パンピのパンツ
見やがってさぁ
エルさんも
ひどいことを
されてない？


されとる
されとる
今日なんて
あいつ わしに
冷や飯食わし
たんじゃよー
え——
ひどいっ
ホント
さえないのよね
アイツ!!
気が
利かない
ね
嫁われ
とろのう……
まちょっと
取りつくろっ
といてやるかし。
でもな
あやつも一
でもっ

いいところも
あるんだよ
野分くん
優しいって
いうか
困ってる人のこと
見捨てておけないって
いうか……
この前も自分の
お昼ごはんガマン
して腹痛の人
助けたり…

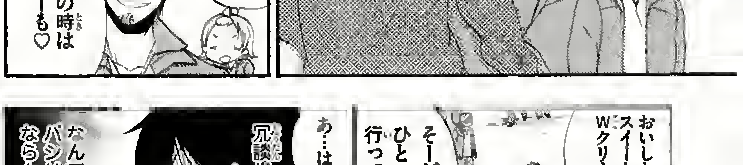

知っとるよ
ずいぶんよく見とるのじゃなあやつのこと

あ早くしないと授業始まっちゃう
バンビ…
いい子ねぇどんな奴でもいい所見つけてあげるのね
ほ――?

※女子は体育館
心配だな あいつ……
変なこと してねーだろうな……
ちょっと 野分くん！ この人私の事 探るとか言って ヘンな事ばっか してくるんですけど
ホント サイテー!!
パンツだけじゃ あきたらないの!?
なんて コトになりかねん……
おい野分
あの女の子――エルさん
あの子 本当に神様なのか？
あ？
何が「あ？」だ 知らばっくれやがって

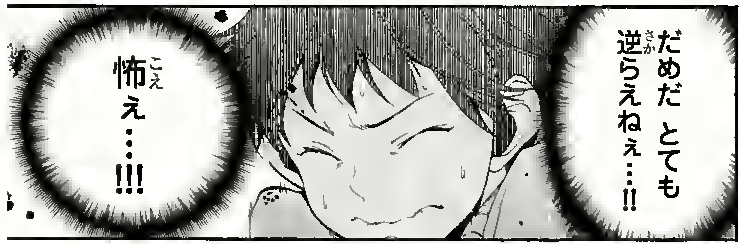
お前はあの神様に毎晩天国にいざなわれているのかと聞いているんだ!!
どんなワードからでも自由に妄想してくるなお前らは!!
勝手な妄想ばっかしやがって
逆だよ逆
俺があいつの世話するばっかで…
世話しとんのか!!!
その発想力を世のため人のために活かせよ!!
ったく盛りすぎだろこいつら なんて俺がそんな目で見られなきゃ…

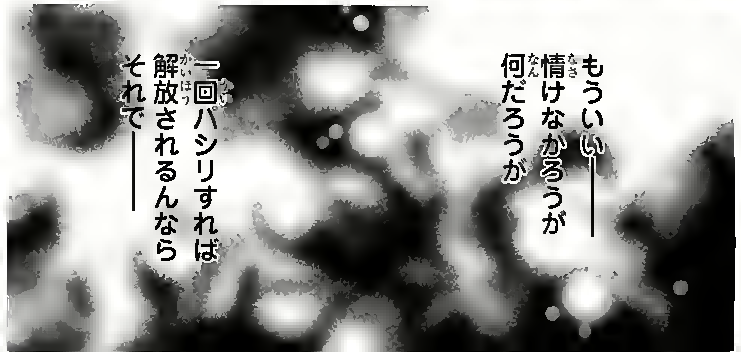
おい
どこ見てんだコラァ
げ……この前の不良…
あお前この前の…
あの時はどーも♡


おいしかったぜスイートポテトWクリームパン
そーだ 今日また ひとっ走り買いに行ってくれよ
あ…はは…
「冗談じゃねえ」
なんで俺がお前のパシリをせにゃならんのだ!!

って言ってやりてえけど……
おい 先生 授業中だろ!! 注意しろ 注意!!
お前らも急に他人のフリか…!!
……っ

お――い
返事は
どーした？
ぎゃ――っ


だめだ とても
逆らえねぇ…!!
怖ぇ…!!!


もういい――
情けなかろうが
何だろうが
一回パシリすれば
解放されるんなら
それで――

なんで そうお主は
何でもかんでも
ホイホイあきらめ
るんじゃ
自分の度胸が
足りぬのを
風のせいにして
勝手にあきらめ
たんじゃろがい
おい……
こんな時に
一体何を
思い出して
るんだ 俺は
やめろ 俺
ヘンな気起こすな
わかってんだろ
いくら勇気を
ふりしぼった
ところで
どうせ
俺なんかじゃ
!!
俺なんかじゃ——

あきらめなければ
いずれパンビにも
伝わるやもしれぬ
のう…

お主の
いいところ

何
黙ってんだ
コラ

何とか
言えよ

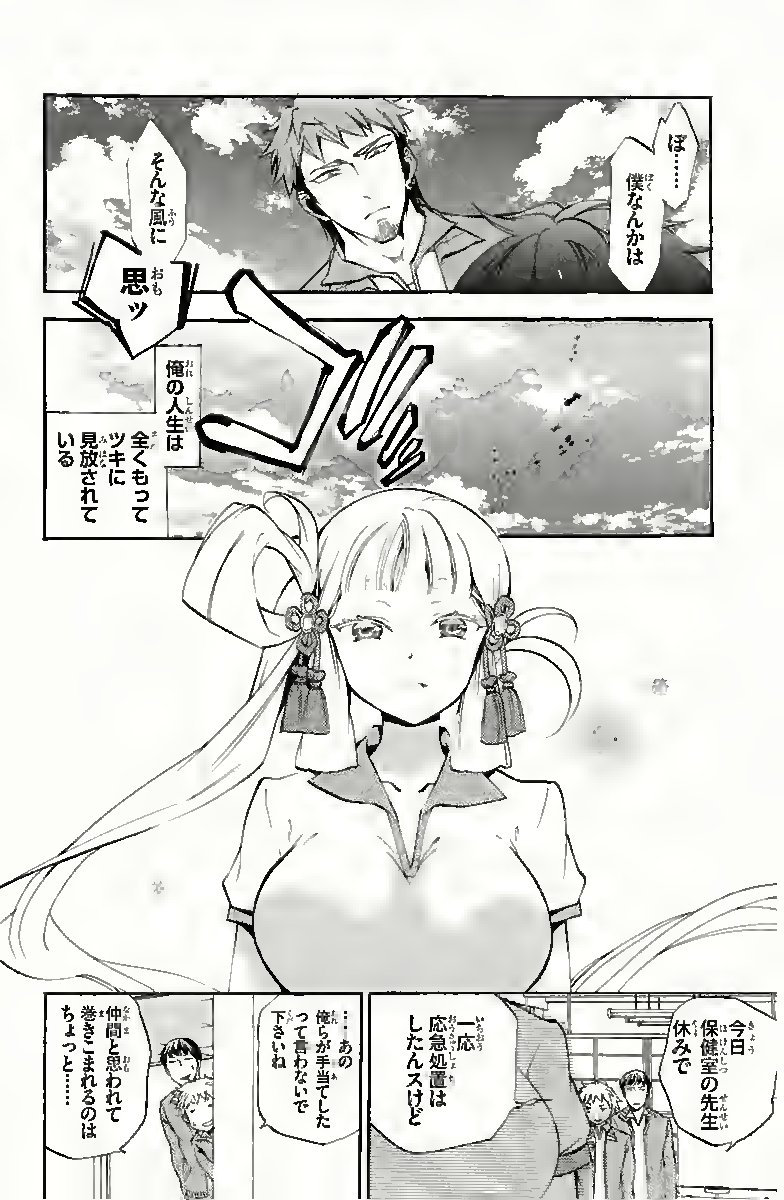
ビッ

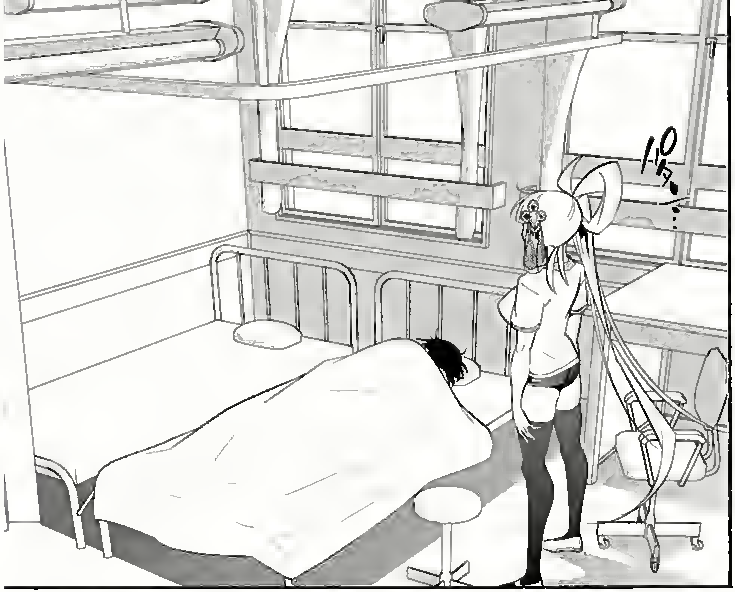
っ

あ……

あの…
みなさん
限定品を
苦労して買ってらっ
しゃるわけですし

あ……
あなたも
欲しいのであれば
きちんと並んで
買うべきなんじゃ
ねーかと……


ぼ……
僕なんかは
そんな風に
思ッ
俺の人生は
全くもって
ツキに
見放されて
いる
今日
保健室の先生
休みで
一応
応急処置は
したんスけど
…あの
俺らが手当てした
って言わないで
下さいね
仲間と思われて
巻きこまれるのは
ちょっと……

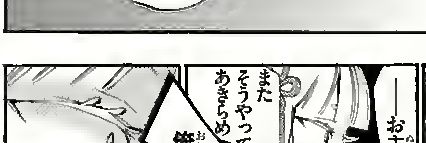

ﾋﾟｸ…

不良にやられたそうじゃな
ずいぶんハデにやられたのう
それだけじゃねーよ
サイフもとられちまった
これから卒業するまでずっとあいつらのパシリすることになっちまった

そうじゃバンビ呼んできてやろうか？ちょっと仲良くなったんじゃよ
好きな女の顔でも見たら元気も出るじゃろうて
そうそうこの体操着もな
——いいよ

もういい
どーあがいたってどーにもならん

バンビのことだってどーせこんな風に痛ェ思いするのがオチだ……


——お主
またそうやってあきらめ
俺だって

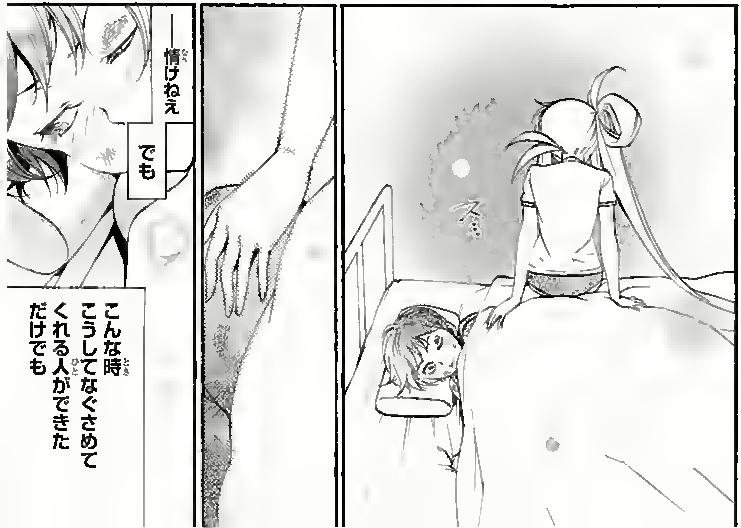
俺だってあきらめたくねえよ
変われるモンなら変わりてえよ

でも変わろうってあがけばあがくほど何かに蹴落とされて悪い方に転がってくんだ
小さい頃からずっとそうだった

何やったって「お前のツキのなさじゃどーにもならん」って思い知らされるだけなんだよ…!!

だったらもう
俺の人生
どーせこんな
もんだって
最初っから
あきらめたほうが
ずっと気持ちが
楽だろうが……!!

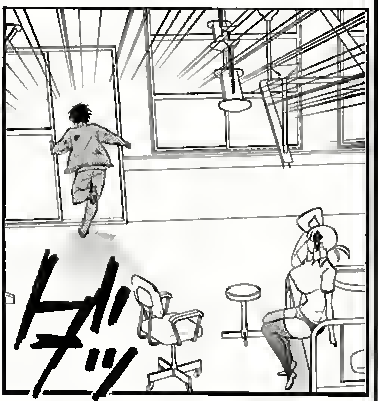
もう
これ以上
叶わねえ夢に
手ェのばして
傷つくのは
ごめんだ……


――情けねえ
でも
こんな時
こうしてなぐさめて
くれる人ができた
だけでも

俺は
くっ!
いっ!!

お主のツキのなさ――
今までの人生――
くっ
知るか
そんなもん!!!
まさかの
バッサリ!!!
おっ…
お前
神様だろ!?
たとえ嘘でもいつか
何とかするとか
言えんのか!!

「いつか」!?
お主がそうやって何でもかんでもあきらめてたら!!
たとえいずれわしの力が戻ってその「いつか」が来たとしても
その時 わしの叶えてやりたい夢がどこにもなくなってしまうじゃろうが!!
お主自身の意志の弱さとツキのあるなしは関係ないぞ
お主はわしの下僕じゃ
下僕なら下僕らしくわしに願いを叶えさせよ!!


トボトボ

……

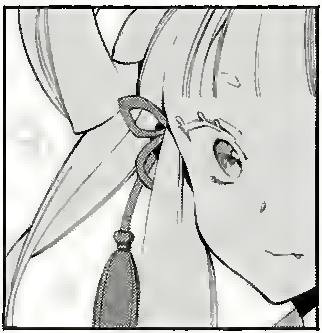
クソッ 何が期待した俺がバカだった
ホントにムカツク奴だあいつ……!!
でも

そうだ
俺が欲しいのは
その場しのぎの
優しい言葉
なんかじゃない
俺が
俺が本当に
欲しいのは――!!
ちゃりーん
350円――
シケてんな
あいつのサイフの
中身
ブリック
買えるぜ
やったな
タカさん
……なんだ
その目は
そんなに返して
ほしいか
この
はした金を

――そうっスね
金もですけど
そのサイフの中に
渡しちゃいけねえ
金以外の
大事なモン
色々
入ってる
気がするんで

下僕……
ばかじゃのう
死んでしまっては
何もならぬではないか……
ガバァ
よよよ
勝手に人の人生
バッドエンドに
すんじゃないよ!!
へへ
殴られても
殴られてもしつこく
食い下がったら
気味悪がられて
返してもらえた

どーよ
見直しました？



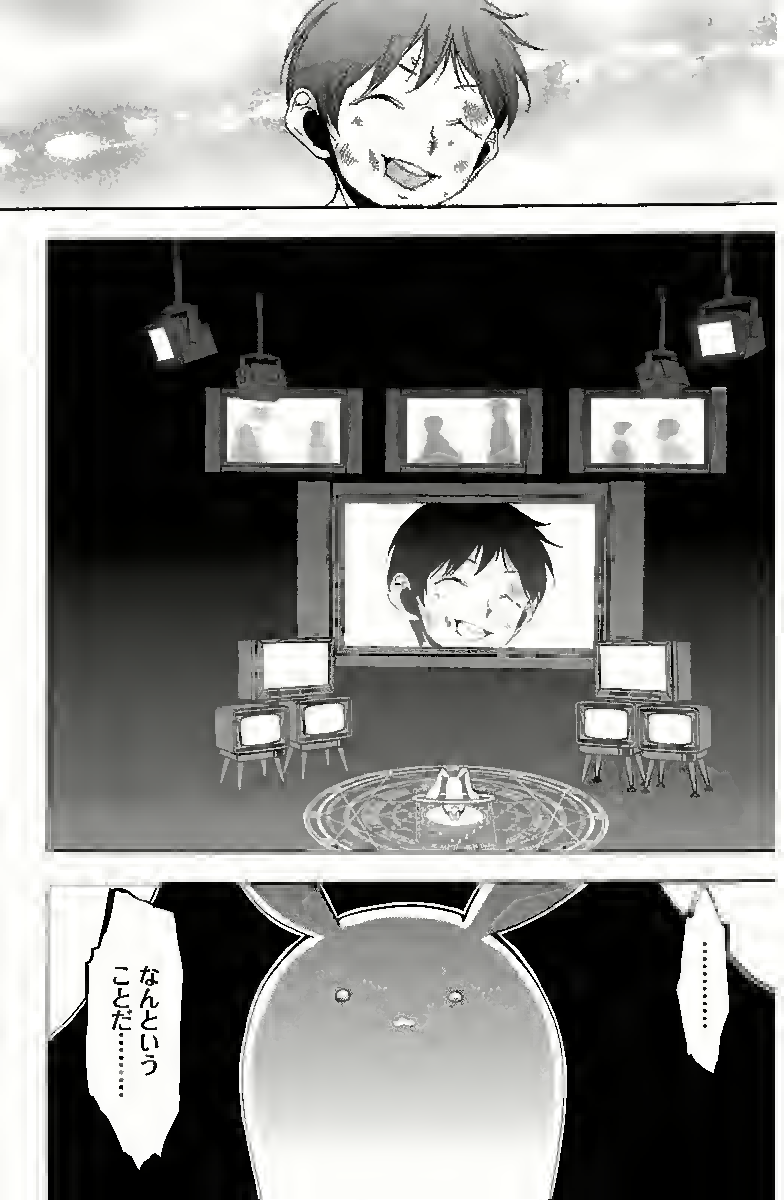
なんじゃ
お主
ずいぶんいい顔で
笑えるんじゃ
ないか
いっつも眉間に
シワよせてばっか
じゃから驚いたわ

誰のせいでいつも眉間にシワよってると思ってんスか
――そう
だいたいこいつのせいだ
体中バカみてえに痛えし
服だってこんなボロボロで
こんなブザマなトコ全校生徒にさらして
今日も俺はツイてない

でも
そんなことどーでもよくなるくらい気分がいい
なんてことは
初めてかもしれない

な…なんで、あの人がここに？
あの人、神様のハズなのに…
ぴぃ…
あっちゃん…あんなに傷ついて…
ひょっとしてあの人
ケケケ
ケケケ
ぴぃ？
神は神でも疫病神!?
なんとかしなきゃ……
わたしがなんとか……!!

なんか――
あの人
すごいね
うん
不良相手に
何度も立ち
向かって…
！


……
なんという
ことだ……

あの日
エルの前に
現れた少年
それに
少年が
想いを寄せる
あの少女は……
……
シロとクロは
いるか
はッ
シュン
―エルよ

わしはお前に
想像以上の試練を
与えてしまったのやも
しれん……

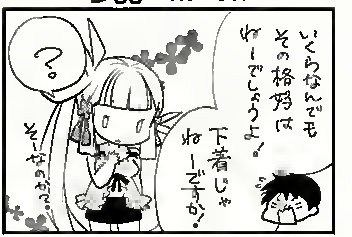
Special Thanks!

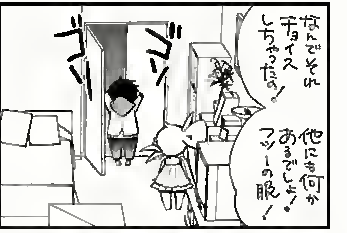
とのちゃん．桂月びれいさま
ミルさま．名々井紗絢さま
マザーみなもと　担当：沖さま

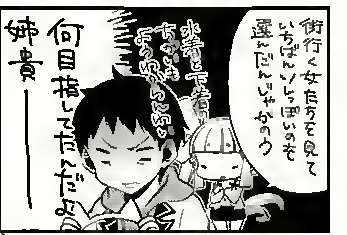
「わみさまBlog」に関わって下さった
皆さまの皆様

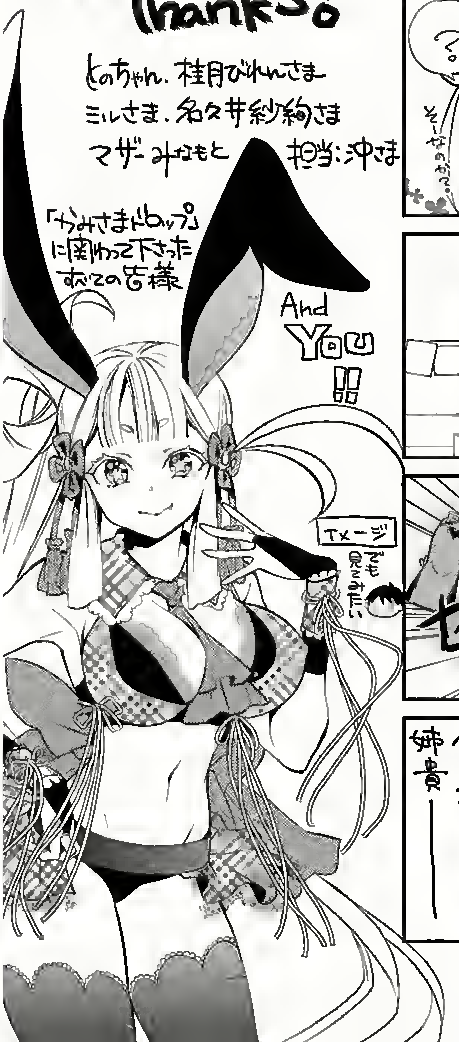
And You!!

・3話の後日談・









god has fallen

SHŌNEN CHAMPION COMICS

かみさまドロップ①

平成25年5月20日　初版発行

著　者　みなもと悠（ゆう）

発行者　秋田貞美

発行所　株式会社 秋田書店

〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-7363　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　神谷印刷株式会社

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

（禁／無断転載・放送・上映・上演・複写・公衆送信）　©Y.MINAMOTO 2013
Printed in Japan

ISBN978-4-253-22146-7

デジタル版　2013年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com